

GCC 2023

この文書は、Gallery Climate Coalition [GCC] (ギャラリー気候連合) が2023年に発行した「Decarbonisation action plan For Galleries and Art Sector Businesses」を特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/ エイト] が日本語に翻訳したものです。

This document is a Japanese translation of the "Decarbonisation action plan For Galleries and Art Sector Businesses" published by Gallery Climate Coalition [GCC] in 2023, translated by Arts Initiative Tokyo [AIT].

ギャラリーとアートセクターのための 脱炭素アクションプラン

Contents

Contents

		脱炭素戦略 Decarbonisation strategy	廃棄物戦略 Waste strategy	障壁に対処する Addressing the obstacles	よくある質問 FAQs
		● 脱炭素アクション 5つのステップ12	● 廃棄物を削減するアクション 5つのステップ31	悪い習慣と社会的慣習39	フットプリントに何を含めるべきか？48
				財務上の制約40	GCC のカーボン計算機には 何が・なぜ含まれる？49
イントロダクション3	コンテクスト Context	STEP 1 グリーンチームを任命する13	STEP 1 ニアゼロウェイスト目標を設定する32	保険41	カーボン・バジェットを作成するには？50
本資料の使い方4		STEP 2 排出量を測定する15	STEP 2 廃棄物監査を実施する33	組織の賛同を得る42	カーボンオフセットはどうか？52
	私たちが直面する課題7	STEP 3 データを分析する17	STEP 3 梱包方法を見直す34	地域差43	「ネットゼロ」はどうなのか？53
		STEP 4 削減目標を設定する18	STEP 4 5Rを実行する35	技術的な限界44	もしすでに「ネットゼロ」や「カーボン ニュートラル」を目標に掲げていたら？54
		STEP 5 改革を実行に移す19	STEP 5 循環型社会へ移行する37	時間的な影響45	基準値を2019年の数値に設定 できない場合はどうすればよいか？55
		● 脱炭素戦略のために できること20			もし組織が拡大を計画しているなら？56
		オーダーメイドの アクションプランを立てる20			炭素排出量を報告する 法的義務はある？57
		カーボンバジェットを策定する23			
		戦略的気候基金（SCF）を設立する24			
	● ケーススタディ ホスフェルトギャラリー9	ネットワークを構築する26	● ケーススタディ28 ハーヴェルカンプ・ライステンシュナイダー		用語集58
		サプライチェーンを通じて 変革を起こす27			クレジット60

GCC 2023 3 ギャラリーとアートセクターのための 脱炭素アクションプラン	イントロダクション	
CONTENTS 📖 イントロダクション 1 コンテキスト 2 脱炭素戦略 3 廃棄物戦略 4 障壁に対処する 5 よくある質問 📖 用語集 もっと詳しく 📖 ギャラリー気候連合 (Gallery Climate Coalition [GCC])	ギャラリー気候連合 (Gallery Climate Coalition [GCC]) は、おもにロンドンの商業アート界で活動するギャラリーや専門家たちによって2020年に発足されました。「2030年までにアートセクターの炭素排出量を半減させる」という共通の目標を掲げています。以来、1000を超えるメンバーが参加。この目標にコミットし、環境への影響を減らすための効果的なアクションを始めています。 この脱炭素アクションプランは、GCC が過去3年間に学んだことや活動を通じて得られたデータをまとめたものです。視覚芸術に携わる誰もが、環境に配慮した責任あるアートセクターの創造に尽力できるようデザインされています。 今年の脱炭素アクションプランは、GCC が2021年に作成したものをベースに構成されています。増加し続けるいっぽうのメンバーにとって有益なものとなるよう、ガイダンスや情報は常に最新科学にのっとして更新していくことが重要だと考えています。そのため私たちは、アクションプランのアップデートを定期的に発表していく予定です。 これから先には、まだ長い道のりがあります。そして、住みよい未来へと導くリーダーシップや政策が政府にないのなら、私たち一人ひとりが変革の先頭に立つのみです。良いニュースもあります。それは、気候目標に向けて大きく前進した組織が実際に生まれ、アートセクターにおける言説や働き方に変化が生じているということ。このアクションプランでは、いま起きている変革の事例を紹介しながら、変化は可能であるだけでなく、すでに起こっているのだということを示したいと考えています。	フィードバックやコラボレーションは大歓迎です。私たちの戦略をより良い、より有効なものにするには、みなさんの洞察や協力が必要不可欠です。ご意見やご質問、今後のアクションプラン策定に参加ご希望の方は、お気軽にご連絡ください。
		// これから先には、まだ長い道のりがあります。そして、住みよい未来へと導くリーダーシップや政策が政府にないのなら、私たち一人ひとりが変革の先頭に立つのみです。

GCC 2023 ギャラリーとアートセクターのための脱炭素アクションプラン	4		
CONTENTS 📖 イントロダクション 1 コンテキスト 2 脱炭素戦略 3 廃棄物戦略 4 障壁に対処する 5 よくある質問 📖 用語集 もっと詳しく 🔗 リンクサンプル	● 各パートへはメニューバーからアクセスできます このアクションプランは、頭から順に読んでいく必要はありません。セッション間を行ったり来たりできるナビゲーションメニューを各ページ左側に設けています。目次に戻りたい場合は、メニューバーの「CONTENTS」をクリックしてください。	本資料の目的は、組織が脱炭素化し、廃棄物戦略を策定するためには何に取り組むべきか、順を追ってわかりやすく示すことにあります。このガイドを使えば、GCCが掲げる目標に向けて効果的に、かつ確信を持って取り組むことができるでしょう。 これから紹介するアドバイスは一般化されたものなので、すべてのメンバーに当てはまるわけではありません。ですが、あなたが自身のチームと協働して自らのアクションプランを推進するなかで、それがあなたの組織ならではのものであること、そして、サステナビリティを求めるあなたの「旅」がいまどのくらいまで来ているのかを知る助けになればと願っています。 ■ セクション 1. コンテキストでは、最新の気候科学の知見を整理しつつ、気候非常事態は視覚芸術にとってどんな意味を持つのかについてあらためて考えています。さらに、GCCの目標とその理由についても詳述しています。 2. 脱炭素戦略と3. 廃棄物戦略では、炭素の排出と廃棄物の両方に関して対策するための手順を概説しています。 4. 障壁に対処すると5. よくある質問では、多くのGCCメンバーが直面している共通の課題や、よく聞かれる質問を取り上げています。すべての問題に答えがあるわけではありませんが、何が妨げになっているのかを特定することで、みなさんと一緒に解決策を模索したいと考えています。 ■ これは誰のため？	私たちは2023年初めに、非営利セクターが直面する具体的な問題について考えた「<u>非営利団体と公共機関のための脱炭素アクションプラン</u>」を発表しました。非営利セクターで働く方はぜひご参照ください。 本アクションプランはまた、新規メンバーや新しく対話に参加した人々にとっての入門書となることを目指しました。そして同時に、長らく環境責任に取り組んできた方々にも新しいアイデアや見識を提供できたと願っています。 GCCのなかでメンバー数が最も急激に増えているのがアーティストたちです。アーティストたちには、実際の活動を脱炭素化するだけでなく、より広い分野の変革をサポートしうる独自のチャンスがあります。GCCは現在、アーティスト向けのガイダンスを2024年に提供するべく進めているところです。 環境への責任を果たすための「万能な」アプローチなどはありません。変革を実行しようとする組織はかならず、それぞれの障壁や機会に直面することでしょう。したがって本資料のすべての内容が全員に当てはまるわけではないため、ぜひチーム間で共有されることを期待しています。
	● もっと詳しく このリソースは、最新の知見やデータを集約し、ステップバイステップのプロセスに落とし込むことを狙いとして制作されました。特定の分野をより深く掘り下げたい場合は、関連するWebページやツールへのリンクをご活用ください。	この脱炭素アクションプランは、GCCメンバーの大半を占めるコマーシャルギャラリーやアートビジネスを支援することにフォーカスしたものです。これらのビジネス特有の課題や機会を反映させながら、脱炭素化と廃棄物の戦略をアップデートしています。	

ゲイリー・ヒューム (Gary Hume)

アーティスト

// 私は自分を
環境活動家とは呼べない。言うなれば
「10%活動家」みたいなものだ。
でもこの世の中には10%活動家が
たくさんいて、それらが集まれば
自然と足し合わさっていくことだろう。

CONTENTS

📖 イントロダクション

1 コンテキスト

2 脱炭素戦略

3 廃棄物戦略

4 障壁に対処する

5 よくある質問

📖 用語集

1

Context

コンテキスト

私たちが直面する課題

7

目標について

8

CONTENTS

📖

イントロダクション

1

コンテキスト

2

脱炭素戦略

3

廃棄物戦略

4

障壁に対処する

5

よくある質問

📖

用語集

もっと詳しく

📄

気候変動に関する政府間パネル (IPCC)

私たちが直面する課題

年々、気候危機の影響から目を背けるのは難しくなっています。2023年には、極端な気象現象が地球上の全大陸に影響を及ぼし、人命や生活に甚大な被害をもたらしました。2023年初めに発表された報告書によれば、事態の進行は予想よりも早く、10年以内に気温上昇が1.5℃を超える可能性が高まっています。

観測史上最も暑い月となった2023年7月、アントニオ・グテーレス国連事務総長はある厳しい発表を行いました——「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来したのです」。この惑星が崩壊する瀬戸際にあって、緊急アクションの必要性はかつてないほど高まっています。

■ 良いニュース

この危機において、私たち一人ひとりには果たすべき役割があります。世界各地でそれぞれの産業界が立ち上がり、新たな働き方を見出し、変革を生み出すテクノロジーの導入を増加させています。そして、私たちが直面する危機を生んだシステムやモデルに疑問を投げかけています。

まさに、2023年を通して、私たちは「ポジティブなティッピングポイント（転換点）」がもたらす影響を目の当たりにしてきました。今年発表された報告によれば、再生可能エネルギーや電気自動車の経済性が化石燃料のそれを凌駕し、地球にプラスの方向に作用しつつあります。つまり、現在から2030年までに、低炭素社会への大転換が可能だということです——ただし、私たち全員が全力で推進し続ける限り。

■ アートセクターの置かれた状況

GCCが提供する無料のカーボン計算ツールを使ってカーボンレポートを作成すれば、自分たちの業界の主な排出源について理解を深め、それらを軽減するための効果的なアクションを行なうことができます。

およそ、アート業界が気候目標を達成するために行うべきことはわかっています。輸送方法を変え、エネルギー効率を高めるために建物や規制を見直し、国外移動への依存を減らすこと。言い換えれば、私たちがいましていることをより効率的にし、慣れ親しんできた長年の習慣を疑ってみるのです。

また、アートのプラットフォームは広い領域に及び、言論へのインパクトもあるため、ポジティブな影響を与える力を秘めています。実用的な気候変動対策を紹介する、気候非常事態の現実を浮き彫りにする作品や声、ストーリーにスポットライトを当てるなど、アート界はその強力で特権的な立場を活用して、危機への取り組みを支援することができます。ただし実行するにあたっては、自分自身が気候科学に従って排出削減に取り組んでいることを示して、信頼を得る必要があります。

2020年以降、視覚芸術セクターに属する1,000を超えるGCCメンバーがこの問題を認識しており、2030年までに同部門の排出量を50%削減し、廃棄物をほぼゼロにするというGCCの目標に合意しています。

やるべきことは常に増え続けています。ですがその一方で、変革が進行中であることも事実です。この脱炭素アクションプランでは、お手本となるようなGCCメンバーの実践例を紹介しており、なかには排出削減目標を上回る成果をあげている人々もいます。

/// **現在から2030年までに、低炭素社会への大転換が可能だということ——ただし、私たち全員が全力で推進し続ける限り。**

CONTENTS

📖

イントロダクション

1

コンテキスト

2

脱炭素戦略

3

廃棄物戦略

4

障壁に対処する

5

よくある質問

📖

用語集

もっと詳しく

📄

GCC | 目標とコミットメント

目標について

■ パリ協定と2030年目標

2015年、196ヶ国の政府がパリに集まり、気候変動に関する法的拘束力のある国際条約「パリ協定」に署名しました。世界の気温上昇を、産業革命以前の水準と比較して2℃未満、できれば1.5℃に抑えると誓約したのです。

2018年には、世界の気温上昇を1.5℃に抑えるという目標を達成するために必要なことをまとめた画期的な報告書が、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の気候科学者らによって発表されました。彼らはそこで、世界の温室効果ガスの排出量を2030年までに2010年比で少なくとも45％削減する必要があると結論づけたのです。

■ GCCの気候目標は？

IPCCのガイダンスにのっとり、GCCはすべてのメンバーに対して「2030年までにCO²e排出量を2018/2019年基準で少なくとも50％削減する」と署名するよう求めています。

(IPCCの発表に従って)2010年の排出基準から45％削減するということは、2018/19年の排出レベルから約50％削減することを意味します。そこでGCCは、メンバーの排出量を2030年までに50％削減することを最低目標として設定しました。

ただし、危機の緊急性と2018年以降の世界的な進捗の遅れを考慮して、GCCはすべてのメンバーに対し目標以上の削減を強く奨励しています。とくに、GCCのほとんどを占める、気候危機に対してより大きな責任を負う国々に拠点を置くメンバーは、(そうでない国々のメンバーと比べて)より速いスピードで排出量を削減すべきです。

GCCには、この問題に取り組むのは初めてというメンバーが数多くいます。そのような人々にとって「2030年までに50％削減」という目標は、達成できそうな「スタート地点」だと感じられるでしょう。ですが本ドキュメントを見ればわかるとおり、ほかのGCCメンバーはすでにアクションを開始していて、なかにはすでにこの目標を達成しているという人々もいます。

大規模に迫り来る気候危機には、意欲的に対策しなければなりません。積極的で経験豊かなGCCメンバーがより意欲的な2030年目標(たとえば70～90％の排出削減)を宣言することで、ほかのGCCメンバーが自分たちの目標を引き上げ、今後6年間で脱炭素化の新たな機会を利用できるようになり、さらに速く前に進める後押しとなってほしいと願っています。

● TARGET 1

50% **セクター全体における
2019年レベルからの
炭素排出量の削減**

● TARGET 2

0 **施設の許す限り
2030年までに
ニアゼロウェイスト*を達成**

* ニアゼロウェイストとは、「(廃棄物を)施設が管理する地域においては埋立地や焼却炉に送られる廃棄物をできるだけ少なくすること」とGCCは定義しています。

CONTENTS

📖 イントロダクション

1 コンテキスト

2 脱炭素戦略

3 廃棄物戦略

4 障壁に対処する

5 よくある質問

📖 用語集

ホスフェルトギャラリー (Hosfelt Gallery)

ホスフェルトギャラリーは、アメリカ・サンフランシスコを拠点とする
コマーシャルギャラリーです。1996年に、サンフランシスコに
のアートディストリクトにあるドア工場跡地に設立され、少人数の
チームによって運営されています。

GCC のアクティブメンバーのなかでも最前線にいる団体のひとつで
あり、2019年の基準値設定以降、すでに相当な量のCO²e(二酸化
炭素換算)排出削減を達成しています。

同ギャラリーは2019年にカーボンフットプリントを初めて算出し、その後
2022年までの3年間で、二酸化炭素排出量を93.77トンから52.75
トンへと、実に44%もの削減を達成しました。さらに、パリ協定の目標
である2030年より7年早い2023年末までに、カーボンフットプリン
トを50%削減することを目指しています。

自分たち以外の人々と協働して習慣や仕事のやり方を見直すことが、
チームの排出削減には必要不可欠でした。これには、輸送やアートフ
ェア出張の見直しといった対外的な業務だけでなく、スタッフの通勤ポ
リシーのような社内的な取り組みも含まれています。

2023年初頭には、アメリカ・アートディーラー協会 (the Art Dealers
Association of America: ADAA)と協力し、ADAAが毎年開催す
るアートショーのためのサステナビリティ・ロードマップを作成。自らの
ギャラリーを運営するにあたってこれを活用しています。国外で行われ
る展覧会への出張を減らすことは、過去2年間の排出量削減に非常
に大きく貢献しました。

「そんなに国外出張をする必要がないということに気がついたんです。
一度の出張で複数の用事を組み合わせるなど、いつどのように国外へ
行くか、もっと戦略的でスマートにできるはずだ、と」。ホスフェルトの
パートナー兼COO/CFO、ダイアン・デック (Dianne Dec) 氏は言
います。

取り組みの一端を紹介すると、次のようなものです。地域外のキュレ
ーターやコレクターのためのバーチャルスタジオ見学ツアーを定期的
に開催。世界各国のオーディエンスとのつながりを維持しながらも国
外出張を減らすオンライン・プログラミングも開発しました。コレクター
たちと行く年1回のドイツ・デュッセルドルフ出張など、チームがヨーロ
ッパに行く際は戦略的に訪問先を組み合わせ、年間の出張回数を減
らすようにしています。

輸送に関しては、ギャラリーチームは可能な限り航空便を避け、個々の
輸送について慎重に検討しています。また、運送会社には見積もりの
際に排出量情報を提供してもらえるよう依頼し、送り状には輸送関連
の排出量情報を記載するようにしています。

「それぞれの作品がどこから来るのか、どうすれば輸送を最小限に抑え
られるのか。たとえばアーティストのスタジオから直接輸送できるかどう
か、そのほうが影響は少ないのか、といったことを考えるようにしてい
ます」とデック氏は言います。

そのために6～8ヶ月先の展覧会について考え、どのように発送を集
約するか計画するようにしています。「計画は立てれば立てるほど効果
的です」とホスフェルト氏は言います。

エネルギーと排出量を節約する方法のひとつとして、ギャラリーチーム
は立地の利点を活かしています。気候が温暖な都市にある天窓つきの
オフィスで、エアコンや暖房をほとんど使わずに過ごし、自然光の恩恵
を受ける。そうすることで電力需要を減らすのです。さらに、サンフラン
シスコがリサイクルや堆肥化のために整備したインフラも最大限に活
用しています。

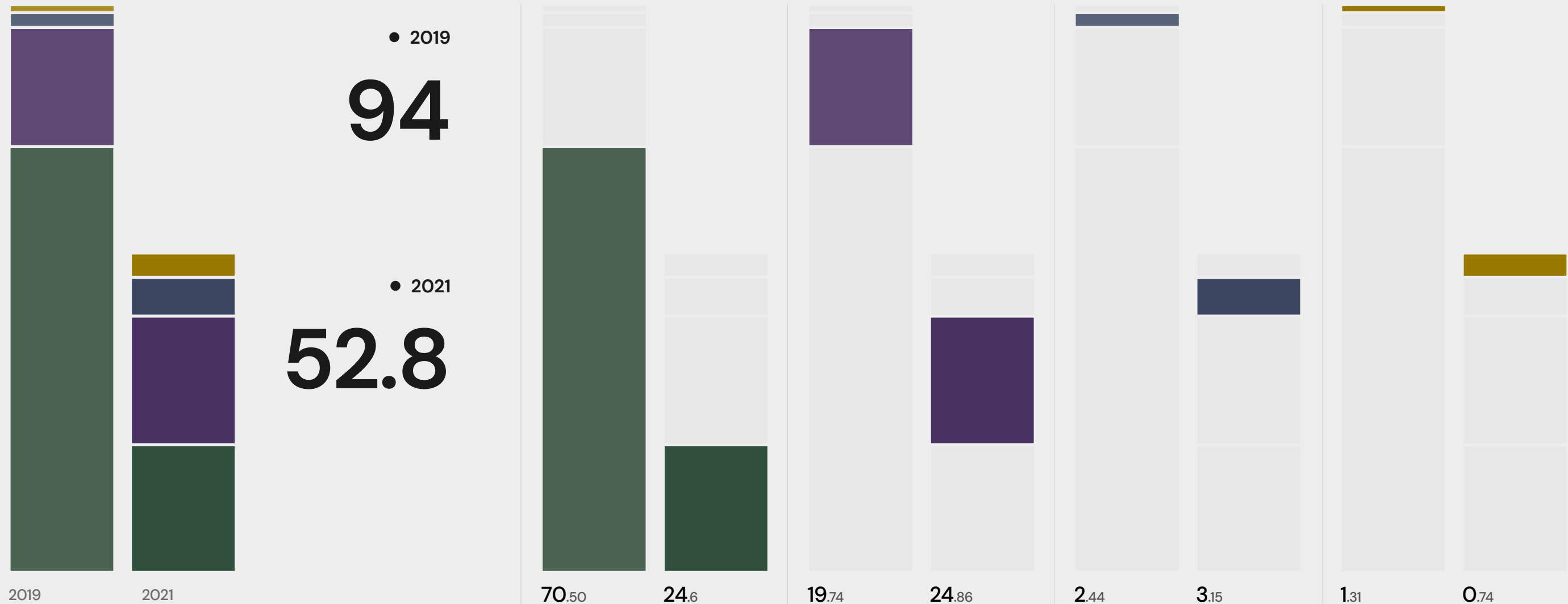
ギャラリーオーナーたちはみな、カルチャーを変え、率先して範を示すこ
との重要性をはっきりと認識しています。ホスフェルト氏とデック氏は、
ふだんの出勤には公共交通機関を利用するとともに、スタッフが公共
交通機関を利用して30日間出勤すると有給休暇を1日追加するという
スタッフポリシーも策定しました。いまでは、ギャラリースタッフの50%
が週に3回以上も公共交通機関を利用しています。

「みんなをやる気にさせること、そして、気候変動対策を文化面におけ
る優先事項と考えてもらうことが重要なのです」とホスフェルト氏は言
います。

この3年間、排出削減について慎重かつ具体的に考えてきた結果、い
まではギャラリー運営に気候変動対策が組み込まれ、目標達成に必要な
削減に向けた今後の道筋もあきらかになってきました。

● 2019年と2021年の炭素排出量の比較
TCO²e(トン二酸化炭素相当量)

● 2019



43% ↓

65% ↓

26% ↑

29% ↑

13% ↓

● 脱炭素アクション 5つのステップ	12
STEP 1	
グリーンチームを任命する	13
STEP 2	
排出量を測定する	15
STEP 3	
データを分析する	17
STEP 4	
削減目標を設定する	18
STEP 5	
改革を実行に移す	19
● 脱炭素戦略のために できること	20
オーダーメイドのアクションプランを立てる	20
カーボンバジェットを策定する	23
戦略的気候基金(SCF)を設立する	24
ネットワークを構築する	26
サプライチェーンを通じて変革を起こす	27

Decarbonisation 2 strategy 脱炭素戦略

脱炭素戦略

GCC 2023		12	
ギャラリーとアートセクターのための 脱炭素アクションプラン			
CONTENTS			
目次			
1		コンテキスト	
2		脱炭素戦略	
3		廃棄物戦略	● STEP 1 グリーンチームを任命する
4		障壁に対処する	
5		よくある質問	● STEP 2 排出量を測定する
用語集			
		● STEP 3 データを分析する	
		● STEP 4 削減目標を設定する	
		● STEP 5 改革を実行に移す	
			いますぐに行動を起こす必要があります。
			以下に続くページでは、GCC が作成した脱炭素戦略の5つのステップを掲載しています。これは、どこでどのように「最初の一步」を踏み出せばよいのかがわからないという人のために作られました。どんな取り組みでも、たいていはスタートすることが一番難しいもの。しかし、私たちの周りで気候危機が進行しているいま、先延ばしにしているような時間はないのです。
			この旅の真っ只中にいる人たちにとっても、このセクションのアドバイスが新たなアイデアのきっかけとなり、また実行するなかで障壁に直面したときの支えとなることを願っています。
			もちろん、脱炭素化だけがすべてではありません。気候危機は、生物多様性の損失、大気・土壌・水へのプラスチックやその他有害物質の蓄積など、私たちが直面する相互に連動した数々の地球環境危機のひとつに過ぎないのです。
			けれど、気候危機に対して適切に行動を起こせば（そしてゼロウェイストのオペレーションを目指すことができれば）、私たち全員がいま直面している最も緊急の問題だけでなく、他の分野の問題に取り組むことにもつながるでしょう。
			したがってGCCは、環境に対するアクションプランを策定しようとする芸術団体を支援する際、まずは気候危機の緊急性と即時性に焦点を置くようにしています。とはいえ、私たちの社会や地球が直面する、相互に関連する他の危機を忘れないでください。廃棄物とのかかわり方を変えるサーキュラーエコノミー（循環型経済）に移行するためのアドバイスについては「 <u>廃棄物戦略</u> 」を参照してください。
			屋外のアートスペースにおける生物多様性の向上から、画材に含まれる有害物質の削減まで。私たちが直面するその他の環境危機に対して、どうすれば視覚芸術がより解決に貢献できるか。さらに研究を進めていきたいと考えています。
			いつでもGCCがお手伝いします。ご質問やご不明点がある場合、または積極的な取り組み例を共有したい場合は、いつでもご連絡ください。
			/// 何ごとも始めるのが一番難しい。しかし、だからといって先延ばしにしているような時間はない。

GCC 2023 ギャラリーとアートセクターのための脱炭素アクションプラン	13 (1 / 2)		
CONTENTS			
📖 イントロダクション			
1 コンテキスト			
2 脱炭素戦略			
3 廃棄物戦略	● STEP 1	グリーンチームを任命する	環境責任に特化した社内チームを設置しましょう。そうすれば、サステナビリティのカルチャーを組織内に深く根付かせることができます。意思決定のあらゆる段階で環境に対して配慮することを定着させるうえで、これは重要なステップです。
4 障壁に対処する	● STEP 2	排出量を測定する	組織の規模や複雑さ、体制によって、グリーンチームのかたちや規模は異なります。下記は、検討すべき主な事項です。
5 よくある質問	● STEP 3	データを分析する	グリーンチームは、重要な意思決定権を持つ個人を含む、組織のあらゆる立場の人に意見を求めるべきです。たとえば、レジストラー、技術者、学芸員、ギャラリー／スタジオ／施設マネジャー、財務責任者、人事担当者、ディレクターなどが含まれます。
📖 用語集	● STEP 4	削減目標を設定する	どうしたらグリーンチームが上級管理職や理事会レベルの意思決定に入り込めるか、組織体制をふまえて検討することも重要です。
	● STEP 5	改革を実行に移す	グリーンチームがどのように組織全体とコミュニケーションをとるか、あるいは反対に、組織全体がどのようにグリーンチームに貢献できるかを検討してください。たとえば、四半期ごとの社内ニュースレター、チーム外の人々の参加を促すオープンな“ドロップイン”ミーティング（予約不要の出入り自由なミーティング）などがあります。
			■ グリーンチームにおすすめしたいこと
			1 定期的なミーティングを設定する。少なくとも月に一度は開催するのが理想的。
			2 GCCの連絡窓口となる担当者を任命する。GCCからの連絡を受け取った担当者は、チーム全体に共有する責任を負う。
			3 基本となるカーボンレポートを完成させる。
			4 GCCが公開している「 <u>効果的なアクション</u> 」のリストに取り組む。
			5 <u>独自の脱炭素アクションプラン</u> を策定する。
			6 目標を設定し、定期的に見直す。
			■ 環境責任のカルチャーを根付かせる
			課題を特定し、組織全体に変化をもたらすことに特化したグリーンチームを立ち上げたとしても、それですべてを解決できるわけではありません。サステナビリティの実現には全員の参加が不可欠であり、グリーンチーム以外にも環境責任を果たすカルチャーを根付かせる必要があります。以下に、環境への配慮がひとつのチーム内だけに留まってしまわないようにするためのいくつかのアイデアを挙げてみました。
			● 重要な意思決定において地球への配慮がなされるよう、環境の視点から発言する人物を理事会のメンバーに任命することを検討してもらおう(たとえば、 <u>Faith in Nature</u> というイギリスの化粧品ブランドが同様の取り組みを実施しました)。
			● 「環境の持続可能性に対する明白なコミットメント」など、すべてのジョブディスクリプション(職務記述書)に環境責任の基準を盛り込む。
			● サステナビリティへのコミットメントを、新しく入社したスタッフとどのように共有するかについて考える。サステナビリティに関する内容を新人研修に組み込む。あるいは、グリーンチームのリーダーと30分ほど話す時間を設けて、組織の環境目標やターゲット、価値観を共有するといった簡単なものでも可。

GCC 2023		14	(2 / 2)
ギャラリーとアートセクターのための 脱炭素アクションプラン		脱炭素アクション 5つのステップ	
CONTENTS			
📖 イントロダクション			
1 コンテキスト			
2 脱炭素戦略			
3 廃棄物戦略		● STEP 1 グリーンチームを任命する	
4 障壁に対処する			
5 よくある質問		● STEP 2 排出量を測定する	
📖 用語集			
もっと詳しく			
📄 GCC グリーンチームについて		● STEP 3 データを分析する	
📄 Carbon Literacy		● STEP 4 削減目標を設定する	
		● STEP 5 改革を実行に移す	
		■ トレーニングとエデュケーション	
		アート業界で働く人々は、気候変動問題について組織内で話す「資格」がないと感じているかもしれません。 <u>カーボンリテラシー・トレーニング</u> のような講座を受けることで、自信を持てるようになったメンバーもいることがわかっています。	
		GCC では、各組織が関連するトレーニングを見つけ、組織のチーム全員が自信を持てるようカーボンリテラシー・トレーニングや同等のトレーニングに参加させることを推奨しています。しかし、 <u>このためにアクションを先延ばしにすることがあってはなりません</u> 。資金を調達して組織全体の研修をセッティングしたからといって、肝心なことを先延ばしにできるなどとは考えないでください。私たちはみな専門家ではなく、学び続けています。どの組織でもどんな理解度でも今日からすぐ行動を開始できるよう、GCC はこのガイドを作成しました。	
		/// サステナビリティの実現には全員の参加がなくてはなりません。それゆえ、環境責任のカルチャーを組織全体に根付かせることが必要です。	

GCC 2023		16	(2 / 2)		
ギャラリーとアートセクターのための 脱炭素アクションプラン		脱炭素アクション 5つのステップ		規模の大きい組織や複雑な運営をおこなっている組織、または相応の資本がある組織には、Julie's Bicycleの計算機を使用するか、外部のcarbon auditors(炭素監査人)に相談することをおすすめします。Julie's Bicycleの計算機はGCCの計算機よりも詳細で、水消費量、廃棄物の発生とそのリサイクル、生産資材などを計測する機能もあります。	
CONTENTS					
📖 イントロダクション					
1 コンテキスト					
2 脱炭素戦略					
3 廃棄物戦略		● STEP 1	グリーンチームを任命する		
4 障壁に対処する					
5 よくある質問					
📖 用語集		● STEP 2	排出量を測定する		
もっと詳しく					
📖 GCC カーボン計算機		● STEP 3	データを分析する		
📖 GCC カーボン計算機 ユーザーガイド		● STEP 4	削減目標を設定する		
📖 GCC カーボン計算機 チュートリアル					
		● STEP 5	改革を実行に移す		

測れなければ
管理はできない

● カーボンレポートの例
TCO₂e (トン二酸化炭素相当量)

8.33

50.58%

移動(空路)

4.99

30.30%

輸送(空輸)

2.22

13.48%

エネルギー

0.07

5.22%

移動(その他)

0.86

0.43%

その他

16.47

合計 TCO₂e

GCC 2023		17	
ギャラリーとアートセクターのための 脱炭素アクションプラン		脱炭素アクション 5つのステップ	
CONTENTS			
📖 イントロダクション			
1 コンテキスト			
2 脱炭素戦略			
3 廃棄物戦略		● STEP 1	グリーンチームを任命する
4 障壁に対処する			
5 よくある質問		● STEP 2	排出量を測定する
📖 用語集			
もっと詳しく		● STEP 3	データを分析する
📄 GCC カーボンレポート			
		● STEP 4	削減目標を設定する
		● STEP 5	改革を実行に移す

カーボンフットプリントを計算した時点で、GCCメンバーのみなさんやそのグリーンチーム、あるいはグリーンアンバサダーが考慮すべき検討事項がいくつかあります。

■ 算出したカーボンフットプリントのうち、最も大きい要素は何か？

どの活動が気候に最も大きな影響を与えているかを知ること、より大きな変化を生み出すアクションに優先して取り組むことができます。

■ 変革のチャンスはどこにあるか？

データを深く掘り下げればすぐに、どの活動やイベント、時間帯が排出に大きく影響しているか見当がつかます。ひょっとして三大アートフェア関連の合計が、輸送フットプリントの半分以上を占めていませんか？ あるいはもしかして、飛行機移動のフットプリントの4分の1は、同じ場所へ何回も長距離移動したことによるものではないでしょうか？ 一年のうちでエネルギー使用量が最も多かったのはどの月ですか？(これを見ると、エネルギー需要が大きいのは建物で使用している暖房なのか冷房なのか、どの展示会のエネルギー需要が他より高いか／低いかがわかります)

■ GCCネットワークの他のメンバーの結果と自分の結果を比べてみると？

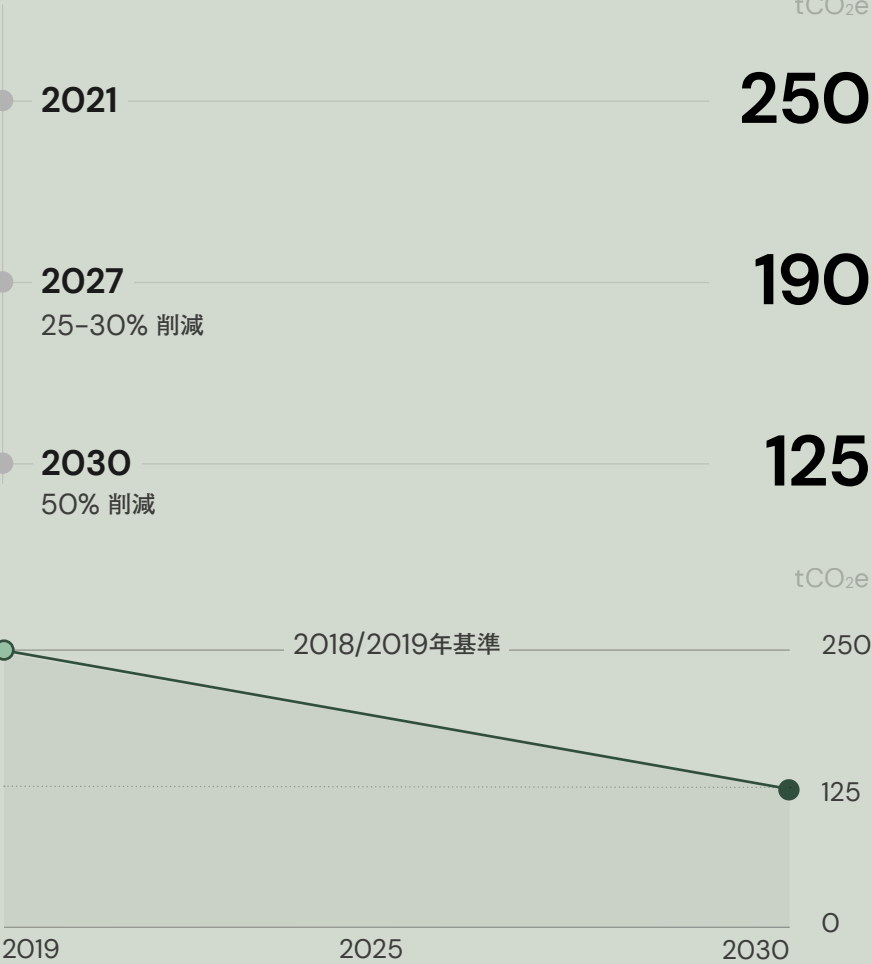
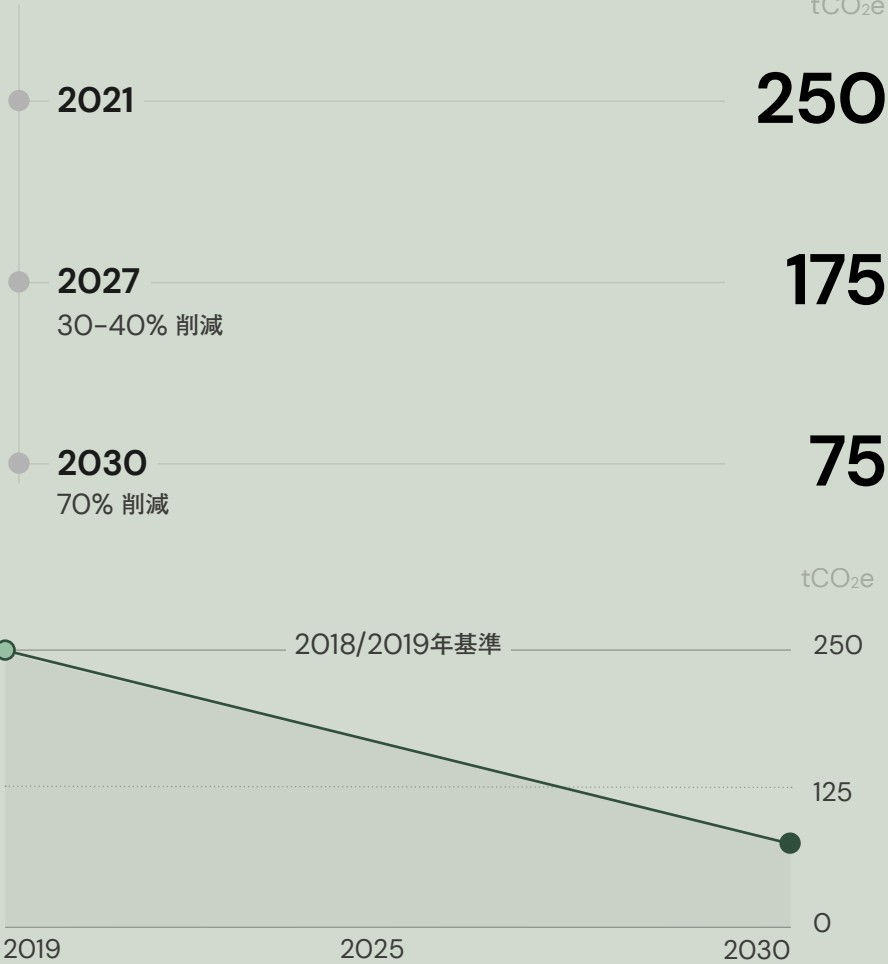
私たちは、GCCの全メンバーにそれぞれの結果をネットワークの他のメンバーと共有するようお願いしています。これは、私たちが互いに学び合うとともに、他のメンバーがフットプリントを測定するのを後押しするためです。公表された結果は[こちら](#)で見ることができます。

■ どこに障壁があるか？ それにどう取り組めばいいか？

各組織が直面する脱炭素化への障壁はそれぞれ異なります。自分たちの組織特有の障壁にはどのようなものがあるのかを把握・検討し、その課題を克服するために何ができるかを考えましょう。[38ページ](#)には、

メンバー企業との対話をもとに、障壁に対処するについてのセクションを設けています。

ここに掲載されていないことで困っていることがあれば、遠慮なくGCCまで連絡してください。また、ほかのGCCメンバーに連絡を取るのもよいでしょう。私たちは協力し合えば、共有している課題に対する解決策を見つけられるはずです。

GCC 2023		18																											
ギャラリーとアートセクターのための 脱炭素アクションプラン			脱炭素アクション 5つのステップ	はるか先に感じる目標のために計画を立てるのは難しいかもしれ ません。そこで、2030年までの道のりの途中に中間目標を設定 することをおすすめします。 削減目標達成への道筋を描くことができたとしても、ある程度は妄信 的に突き進んでいくことも必要です。これから数年のあいだに何が起 こるか、どのような課題が新たに生じるか、あるいはどのようなチャン スが訪れるのか、誰も正確に知ることはできません。けれど、未来が不確 実だからといって目標設定やアクションを止めることがあってはならな いのです。	もし迷っているようなら、まずは2025年までに30%削減することを 第一歩としてはじめるとよいでしょう(ただし、どこからスタートするか によって、2026年や2027年が中間地点となることもありえます)。そ れにより、50%の目標達成に向けて良いスタートが切れたり、2030 年までに70%削減するための取り組みを加速させることにつながった りするからです。																								
CONTENTS																													
目次																													
1 コンテキスト																													
2 脱炭素戦略																													
3 廃棄物戦略		● STEP 1	グリーンチームを任命する	● 削減への道筋の例																									
4 障壁に対処する				50%削減への道のり  <table><tr><th>Year</th><th>2021</th><th>2027</th><th>2030</th></tr><tr><td>Value (tCO₂e)</td><td>250</td><td>190</td><td>125</td></tr><tr><td>Reduction</td><td>-</td><td>25-30% 削減</td><td>50% 削減</td></tr></table>	Year	2021	2027	2030	Value (tCO ₂ e)	250	190	125	Reduction	-	25-30% 削減	50% 削減	70%削減への道のり  <table><tr><th>Year</th><th>2021</th><th>2027</th><th>2030</th></tr><tr><td>Value (tCO₂e)</td><td>250</td><td>175</td><td>75</td></tr><tr><td>Reduction</td><td>-</td><td>30-40% 削減</td><td>70% 削減</td></tr></table>	Year	2021	2027	2030	Value (tCO ₂ e)	250	175	75	Reduction	-	30-40% 削減	70% 削減
Year	2021	2027	2030																										
Value (tCO ₂ e)	250	190	125																										
Reduction	-	25-30% 削減	50% 削減																										
Year	2021	2027	2030																										
Value (tCO ₂ e)	250	175	75																										
Reduction	-	30-40% 削減	70% 削減																										
5 よくある質問		● STEP 2	排出量を測定する																										
用語集																													
もっと詳しく		● STEP 3	データを分析する																										
☑ カーボン・バジェットを作成するには？		● STEP 4	削減目標を設定する																										
		● STEP 5	改革を実行に移す																										

GCC 2023	19		
ギャラリーとアートセクターのための 脱炭素アクションプラン			
CONTENTS			
📖 イントロダクション			
1 コンテキスト			
2 脱炭素戦略			
3 廃棄物戦略	● STEP 1	グリーンチームを任命する	排出量を計算して目標を設定したら、いよいよアクションを開始して変革を実行に移すときです。
4 障壁に対処する			
5 よくある質問	● STEP 2	排出量を測定する	グリーンチームと腰を据えて話し合い、優先事項や見込みのあるアクションをリストアップし、変革のために時間とリソースを配分することから始めてください。これには、現行のプロセスに二酸化炭素削減を取り入れたり(例:今後の展覧会やイベントに関して話し合う際、最初からフライトや航空貨物に関する議題を含めるようにする)、新しいプロジェクトを立ち上げたり(例:建物のエネルギー監査を手配する)といったことが含まれるでしょう。
📖 用語集			
もっと詳しく	● STEP 3	データを分析する	最も重要なのは、目の前のタスクに圧倒されないこと。なぜなら、行動しなくなる原因になるからです。
📖 オーダーメイドのアクションプランを立てる	● STEP 4	削減目標を設定する	手始めにどれかひとつ選んで、行動を開始しましょう。短期的な削減を実現するアクションと、変革の基礎を築く長期的なアクションとのミックスを目指してください。軽微な排出源についての議論で泥沼にはまって、フットプリントのいちばん大事な部分がおろそかになってしまうことのないように。これから開催されるイベントでペットボトルを使わないようにするのももちろん良いですが、それについて議論するのに航空貨物の削減よりも長い時間を使ってしまわないようにしましょう。
	● STEP 5	改革を実行に移す	質問や懸念があったり、なんらかの障壁に阻まれている場合はご連絡ください。必ずしもすぐにすべての答えを出せるわけではありませんが、私たちはみなが力を合わせて解決策を模索するために存在しているのです。

最も重要なのは、目の前のタスクに圧倒されないこと。なぜなら、行動しなくなる原因になるからです。

GCC 2023		20	(1 / 3)	
ギャラリーとアートセクターのための 脱炭素アクションプラン			脱炭素戦略のためにできること オーダーメイドのアクションプランを立てる	
CONTENTS				
📖 イントロダクション				
1 コンテキスト				
2 脱炭素戦略				
3 廃棄物戦略				
4 障壁に対処する				
5 よくある質問				
📖 用語集				
もっと詳しく				
📄 GCC ベストプラクティス・ガイドライン				

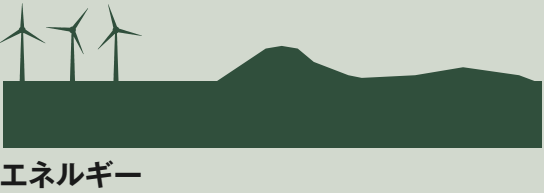
脱炭素戦略のためにできること

オーダーメイドのアクションプランを立てる [例]

ノッティンガム・コンテンポラリー社提供

● 排出源

排出量が多い順に優先順位をつけてください。
(例:2019年のカーボンレポートによると、最も排出量を増やしたのは建物のエネルギー使用だった)



エネルギー

● 優先事項

これは、あなたの組織の目標は何かが明確に伝わるものでなければなりません。明確さを保つために、目標は各排出源につきひとつかふたつに絞り、それに粘り強く取り組んでください。組織の目標設定に際しては、GCCの「[ベストプラクティス・ガイドライン](#)」と「[効果的なアクション](#)」が役に立ちます。

● 優先課題1

非効率なものを特定して削減するため、年1回のエネルギー監査を実施し、その削減量を追跡する。

● 優先課題2

オンサイト発電*に投資して、エネルギー消費の正味量(ネット)を削減する。

* 訳注：敷地内に再生可能エネルギー電源を設置し、自家消費すること

● 優先課題3

アーティストや作品のレンダー(作品の貸し手もしくは所有者)、関係者をプロジェクトスケジュールの早い段階から巻き込み、アーティストや作品の保管場所、移動や輸送による環境への影響をキュレーターの意思決定プロセスの一環として考慮する。



輸送と移動の計画

● アクション

短期的に「難なく達成できるもの」と、変革のための長期的な投資をミックスしてください。そして、それぞれのアクションを部署に割り当てることが重要です。報告責任のあるスタッフをアサインするとなお良いでしょう。

- エネルギーの消費状況に関してより多くのデータを得られるよう、総合的な計量のためのBMS(ビルマネジメントシステム)のアップグレードの費用を調べる。(アサインされた部署やスタッフの名前を記入)
- HVAC(Heating:暖房／Ventilation:換気／Air Conditioning:空調)への規制と融資契約の規定を調査する。(アサインされた部署やスタッフの名前を記入)

- ソーラーパネルの設置に必要な投資(8～10万ポンド)を継続的に求める。これにより、エネルギー消費量の11～12%削減が見込める。(アサインされた部署やスタッフの名前を記入)
- ネットワークを活用して、建物への適切な資本投資を求めるロビー活動を共同で行う。(アサインされた部署やスタッフの名前を記入)

- 英国内で輸送が完結するプロジェクトと、英国を拠点とするアーティストとのプロジェクトに、それぞれ年2件ずつコミットする。(アサインされた部署やスタッフの名前を記入)
- 国外移動を避けるため、英国以外のコントリビューターにはZoomまたはその他のライブストリーム配信へ招待する。(アサインされた部署やスタッフの名前を記入)
- 可能な場合は、ほかの組織とコラボレーションしたり、別の理由でアーティストが英国に滞在しているときに便乗する。(アサインされた部署やスタッフの名前を記入)

脱炭素戦略のためにできること

オーダーメイドのアクションプランを立てる [例]

ノッティンガム・コンテンポラリー社提供

● 排出源

排出量が多い順に優先順位をつけてください。
(例:2019年のカーボンレポートによると、最も排出量を増やしたのは建物のエネルギー使用だった)

● 優先事項

これは、あなたの組織の目標は何かが明確に伝わるものでなければなりません。明確さを保つために、目標は各排出源につきひとつかふたつに絞り、それに粘り強く取り組んでください。組織の目標設定に際しては、GCCの「ベストプラクティス・ガイドライン」と「効果的なアクション」が役に立ちます。

● アクション

短期的に「難なく達成できるもの」と、変革のための長期的な投資をミックスしてください。そして、それぞれのアクションを部署に割り当てることが重要です。報告責任のあるスタッフをアサインするとなお良いでしょう。



輸送と運送

● 優先課題4

前もって輸送スケジュールを十分に計画し、陸上輸送、海上輸送、その他のほかの低排出オプション(ハイブリッドまたは電気)を一元管理して優先的に割り当てる。短距離輸送にはゼロエミッションの運送会社を利用する。

● 優先課題5

それぞれの展覧会の登録業務の一環として、排出量の記録をつける。

● 優先課題6

何が「必要不可欠」かを再検討する。飛行機よりも電車や車での移動を優先し、効率的に出張できるよう会議やリサーチを一元管理する。

● 優先課題7

廃棄物の5R (Refuse、Reduce、Reuse、Repurpose、Recycle)の階層にしたがって使用する材料を厳選し、プラスチックの割合を減らす。再利用可能な材料を優先し、使い捨てプラスチックを避け、材料の消費をできる限り削減する。

- 海上輸送の補償範囲について保険会社に相談する。(アサインされた部署やスタッフの名前を記入)

- 運送会社にサステナビリティ目標を伝える。(アサインされた部署やスタッフの名前を記入)

- 英国にあるゼロエミッションの運送会社を調査する。(アサインされた部署やスタッフの名前を記入)

- 地元のEV(電気自動車)タクシー会社を調べる。(アサインされた部署やスタッフの名前を記入)



スタッフの移動

- Seat61*などのツールを利用し、電車優先の出張規定を徹底する。(アサインされた部署やスタッフの名前を記入)

* 訳注:飛行機を使わず電車や船で英国から世界各国へ移動する方法を調べることができるウェブサイト。

- やむを得ない場合は、短距離便を年に2回、国際線フライトを年に1回までとする。(アサインされた部署やスタッフの名前を記入)



梱包と資材

- Artists Commitのマテリアル・アフターライフ・アセスメント(Materials Afterlife Assessment)のテンプレートなどを用い、各チーム内(ショップやカフェを含む)で使用されている資材についての監査を組織全体で実施する。(アサインされた部署やスタッフの名前を記入)

- GCCとKi Cultureの調査に沿って、作品梱包に使用する資材を見直し、改める。(アサインされた部署やスタッフの名前を記入)

CONTENTS	中間目標と2030年目標が決まったら、目標達成に向けた具体的なマイルストーンを年度ごとに設定するとよいでしょう。排出される炭素の総トン数を調べ、全体目標を達成するためには年平均でどの程度の削減が必要かを計算すればわかります。これが「カーボンバジェット(炭素予算)」となります。
目次	
1 コンテキスト	
2 脱炭素戦略	これにより、飛行機移動や輸送、エネルギー使用などに目を向け、必要な1年間の削減量を達成するためにそれぞれの分野でどんな行動を取るべきかが考えられるようになります。
3 廃棄物戦略	
4 障壁に対処する	このプロセスは財務予算案と同じくらい重要です。超過してはならない年間総量を設定し、それに従って活動計画を立てます。
5 よくある質問	
用語集	ここまで詳細なものは、すべての組織(とくに小規模な組織)に必須ではないかもしれませんが、しかし、排出物という、ときに抽象的な概念がイメージしやすくなるはずです。
もっと詳しく	
図表: カーボン・バジェットを作成するには?	大規模な組織では、部門や所在地、プロジェクト、業務カテゴリーごとにカーボンバジェットを分割するよう求められるかもしれません。
	もちろん現実には、中間目標と2030年目標に向かって一直線に進んでいくことはできないでしょう。カーボンフットプリントの一部は脱炭素が困難かもしれませんが、反対に想定よりも容易に脱炭素できると判明するものもあるかもしれません。新型コロナウイルス感染症(Covid-19)の大流行はほとんどの組織の排出量を大幅に減少させましたが、地域や活動によってさまざまな速さ・かたちで元に戻りつつあるため、長期的な影響はまだ完全には明らかになっていません。
	年間の炭素割当量やカーボンバジェットを完璧に把握することはできませんが、組織の変革を促すには有用なツールです。

さまざまな規模の組織の年間炭素目標や予算設定に関するさらなるアドバイスについては、FAQ セクションを参照してください。

// このプロセスは財務予算案と同じくらい重要です。超過してはならない年間総量を設定し、それに従って活動計画を立てます。



CONTENTS

目次

イントロダクション

1 コンテキスト

2 脱炭素戦略

3 廃棄物戦略

4 障壁に対処する

5 よくある質問

Ⅷ 用語集

脱炭素戦略のためにできること

戦略的気候基金 (SCF) を設立する

環境問題の専門家のあいだで広く合意されているように、従来の「カーボンオフセット」は、気候危機に取り組むにあたって最速かつ公平で最も効果的な方法というわけではありません。それゆえGCCはカーボンオフセットの利用を推奨していません。その理由をここで概説しています。

しかしながら、環境と生物多様性を保護する最前線の活動への寄付や、効果的な脱炭素プロジェクトへの投資は依然として急務ではあります。

気候非常事態に対処するためには、あなたの組織の排出量を削減するだけでは不十分なのです。脱炭素化や効果的な気候変動対策への資金投資が必要です。

GCCメンバーのほとんどがグローバルノース側です。そのため、単に私たちの組織の排出量を削減するだけでなく、私たちのビジネスや制度を支えている富やインフラ、安全保障が、数百年に及ぶ歴史的な炭素汚染(carbon pollution)と植民地主義の上に築かれてきたことを認識する責任があります。したがって私たちには、とくにグローバルサウスにおいて、より広範な変化を加速させ、最前線の取り組みを支援するために自らのリソースを使うべき責任が明確にあるのです。

以上のことをすべて考慮に入れた結果、GCCは視覚芸術セクターが倫理的に気候変動に取り組むための資金策として「戦略的気候基金 (Strategic Climate Funds: SCFs)」を設立しました。

■ SCFsの取り組み

アート関連組織は、環境負荷をできるだけ減らすため、年間のカーボンフットプリントを計算して、目標を設定し、アクションプランを策定して、ベストプラクティス・ガイドラインに従ってください。

そのうえで、排出するフットプリントの量 (GCCカーボン計算機で推定したもの) を基準にするか、年間売上高に対する割合 (%) を設定して、毎年どれくらいSCFに積み立てるか計画します。

この基金は、組織の具体的なニーズや傾向に応じて、次のような方法で使用することができます。

- 1 予算の捻出が難しい組織内の炭素削減策に投資する。
- 2 アート業界のカーボンフットプリントを早急に削減する取り組みを支援する。
- 3 気候危機に対して現場で直ちに戦略的な変革を起こせる最前線のプロジェクトやキャンペーンを支援する。

重要:この施策において、利用団体が寄付したことを理由にカーボンニュートラルやネットゼロエミッションを掲げることは許可していません。SCFの一連のプロセスによって排出量がゼロになるわけではありません。とはいえ、SCFは効果的な環境プロジェクトに資金を公平に提供する手段であり、より広い範囲でシステムの変革を加速させる力となるでしょう。

■ 戦略的気候基金の使い道

ファンドに資金が入ったら（詳しくはこちらを参照のこと）、それをどのように使うか決める必要があります。上記のとおり、必ずしも外部組織に寄付すればよいということではありませんが、少なくともSCFの一部は外部組織への支援に活用することを強く推奨しています。私たちはこれを外部寄付 (External Donations) [i]と呼んでいます。またこのファンドは、あなたの組織のオペレーションやサプライチェーンを「グリーン化」することで、事業が環境に与える影響を直接的に軽減する内部投資 (Internal Investments) [ii]に利用することもできます。

I. 外部寄付 (EXTERNAL DONATIONS): GCC 戦略的気候基金パートナー

SCF パートナー選定基準に則り、緊急の気候変動対策が必要とされる3つの主要分野にまたがるプロジェクトを選びました:

- a. 森林・湿地帯の保護と拡大
- b. 気候変動に配慮した農業への転換
- c. 化石燃料を地中にとどめる

/// 強調したいのは、 「寄付をしたから カーボンニュートラルに 取り組んでいる」という 主張をSCFは認めて いないということです。

GCC 2023 25 ギャラリーとアートセクターのための 脱炭素アクションプラン	(2 / 2) 脱炭素戦略のためにできること 戦略的気候基金 (SCF) を設立する	
CONTENTS	厳選した組織を支援するため、GCC では認知度向上とアート市場からの資金調達に取り組んでいます。	一部に関してはすでに選択肢がある一方で、さらなる支援が必要なものもあります。それゆえ、SCFs を通じた芸術分野への戦略的投資が、変化をもたらす一助となるのです。
📖 イントロダクション	化石燃料を地中にとどめ、温室効果ガスを大気中に放出させないようにする。	汚染度の高いものを安価だからといって購入しないよう、より低炭素のものを購入するために助成する(たとえば、資材を再生材やリサイクル材から作られたものに変えるなど)。
1 コンテキスト	自然環境と生物多様性、そしてそこに住む人々を保護する。	中距離の移動には電車を利用するなど、より低炭素な交通手段に対して助成する。
2 脱炭素戦略	気候正義の原則を遵守する。	建物の改築・改修を行い、効率性を高める。
3 廃棄物戦略	2030年までのタイムライン内で、上記を効果的に実行することができる。	所有車やリース車を低炭素な代替車に変える(たとえば、カーゴバイク[三輪カーゴバイク]やEV デリバリー車など)。
4 障壁に対処する	GCC は上記の基準に則り、メンバーへ寄付を推奨する団体を選定し、提携しています。	断熱材や防風層を設置する。
5 よくある質問	[提携団体例]	照明をすべてLED に切り替える。
📖 用語集	レインフォレスト・アクション・ネットワーク (Rainforest Action Network)、クライアントアース (ClientEarth)、ソーラーエイド (Solar Aid)、アート・トゥ・エーカーズ (Art to Acres)、アグロエコロジー基金 (AgroEcology Fund)	再生可能エネルギーや発熱設備を敷地内に設置する(たとえばソーラーパネルなど)。
もっと詳しく		ガス暖房システムを電気ヒートポンプに交換する。
📄 GCC 戦略的気候基金 (SCF) について		
	これらすべての計画が2030年までの間にポジティブなインパクトをもたらすことを確信しています。 II. 内部投資 (INTERNAL INVESTMENTS): SCFS の「グリーン化」事業 真にサステナブルなアートセクターであるためには、国際輸送、現地での美術品輸送、低電力の照明や温度管理、梱包、展示資材、印刷、国外出張などのための、よりクリーンで手頃な代替手段が必要です。	排出量を削減するだけでは、気候非常事態に対処することはできません。私たちは脱炭素化を進めるとともに、効果的な気候変動対策に資金を提供しなければならないのです。

GCC 2023 26 ギャラリーとアートセクターのための 脱炭素アクションプラン	脱炭素戦略のためにできること ネットワークを構築する	
CONTENTS	幸いなことに、ここ数年のあいだでサステナビリティに関する議論は大きく進展しました。ますます多くのギャラリーや企業が、みずからの責任を真剣に受け止めるようになっていきます。	透明性を持ち、説明責任を果たす。分野を超えて透明性を確保するため、メンバーのみなさんにはなるべく報告書や事例を共有してもらおうようにしています。
📖 イントロダクション		
1 コンテキスト		
2 脱炭素戦略	この分野で活動する組織が増えたことで、透明性や連携、ネットワーク間のコミュニケーションがますます重要になっています。鍵はコラボレーションです。私たちには、バラバラに孤立して動く時間は残されていません。	GCCのブログに寄稿する。メンバーのみなさんからの投稿をお待ちしています。記事、サクセスストーリー、解説、事例研究、製品レビューなどをぜひお寄せください。
3 廃棄物戦略		
4 障壁に対処する	強いコミュニティやネットワークを構築し、お互いをサポートしながら、取り組みが重複しないようにするために考慮すべきいくつかのアイデアを以下に挙げました。	
5 よくある質問		
📖 用語集	声をあげる。ネットワークを活用して、成功事例やイノベーションのニュース、そして困難を共有してください。あなたの課題を解決する方策を、誰かがすでに持っているかもしれません。	
もっと詳しく		
📄 GCC メンバー登録	地域、国内、国際、それぞれのレベルで協力関係を築く。地域に国際ボランティアチームはありますか？ なければ、自分で立ち上げてみましょう。	
	- GCCのメンバーになる。GCCコミュニティの一員になれば、最新のガイダンスやイノベーション、ベストプラクティスについて常に情報を得ることができます。 - GCCのキャンペーンを支援する。数は力になります。GCCではすでに、その連携力を利用することで制度改革を求めるロビー活動が成功を収めています。	

// 鍵は
コラボレーションです。
私たちには、
バラバラに
孤立して動く時間は
残されていません。

GCC 2023 27 ギャラリーとアートセクターのための脱炭素アクションプラン	脱炭素戦略のためにできること サプライチェーンを通じて変革を起こす	
CONTENTS	アート業界がポジティブな変化をもたらせるかどうかは、私たちが誰と仕事をするかの選択に大いにかかっています。サプライヤー、銀行、スポンサーなど、環境責任を優先するパートナーとの協業を選択することで、業界を超えて影響を及ぼすことができるのです。	
📖 イントロダクション		
1 コンテキスト		
2 脱炭素戦略		
3 廃棄物戦略		
4 障壁に対処する	一例を挙げると、GCC のサステナブル・ SHIPPING・キャンペーンに応えたアート関係の輸送会社が、排出削減の必要性をより真剣に受け止めてくれるようになりました。 すべての調達プロセスの過程において、環境に最も配慮した対策を実際にやってもらうよう、主要なサプライヤーに要求してください。これには下記も含まれます。 • 取引先の運送会社がGCC のサステナブル・SHIPPING・キャンペーンに賛同しているかどうか確認する。 • 取引銀行や資金提供者、パートナーについて調べ直し、GCC の財務ガイドラインに合致しているか確認する。 • 廃棄物処理会社に自組織の廃棄物削減目標を伝え、GCC の廃棄物ガイドラインに沿って質問をする。GCC ロンドンはこの活動をサポートするため、メールのテンプレートを用意しました(テンプレートを見たい方はメンバーとしてログインしてください)。	
5 よくある質問		
📖 用語集		
もっと詳しく		
📄 GCC サステナブル・SHIPPING・キャンペーン		
📄 GCC 財務ガイドライン		
📄 GCC 廃棄物ガイドライン		

Gilane Tawdros

ディレクター、ホワイトチャペル・ギャラリー

// 私たちが集まれば、
計り知れない影響を
及ぼすことができる。

ギャラリーとアートセクターのための
脱炭素アクションプラン

CONTENTS

📖 イントロダクション

1 コンテキスト

2 脱炭素戦略

3 廃棄物戦略

4 障壁に対処する

5 よくある質問

📖 用語集

Waste

3 strategy

廃棄物戦略

● 廃棄物を削減する
5つのステップ

31

STEP 1

ニアゼロウェイスト目標を設定する

32

STEP 2

廃棄物監査を実施する

33

STEP 3

梱包方法を見直す

34

STEP 4

5Rを実行する

35

STEP 5

循環型社会へ移行する

37

CONTENTS

📄 イントロダクション

1 コンテキスト

2 脱炭素戦略

3 廃棄物戦略

4 障壁に対処する

5 よくある質問

用語集

もっと詳しく

☞ Ki Culture | 廃棄物・資材のKi Book

廃棄物を削減する 5つのステップ

- ## ● STEP 1 ニアゼロウェイスト目標を設定する

- ## ● STEP 2 廃棄物監査を実施する

- ## ● STEP 3 梱包方法を見直す

- ## ● STEP 4 5Rを実行する

- ## ● STEP 5 循環型社会へ移行する

あらゆる組織が、廃棄物監査(waste audit)を実施して年間の削減目標を設定すべきです。これにより、自分たちがどのような種類の廃棄物を出しているかをより理解することができ、改善点を特定できるようになります。

廃棄物監査では、どんな廃棄物が生じたかを調べ、それを記録して分析します。手順については、Ki Cultureの『Ki Culture's Waste and Materials Ki Book (廃棄物・資材のKi Book)』(p.55)を参照してください。

GCCメンバーが行った廃棄物監査の事例は近々公表する予定です。
共有できる事例がある方はご連絡ください。

* 訳注:Ki Cultureは、持続可能な未来を目指し、サステナビリティ教育に文化を活用するなどの取り組みを行うオランダの非営利組織です。

廃棄物は、
誰もが考えたくない、見たくない、
目を背けたくなるものです。
捨てたら、そこがあるべき
場所なんだ……と。
しかし、廃棄物を受け入れ、
真正面から見据えることでしか、
変化を生み出し、
私たちが見たい社会の変革を
可能にすることができないのです。

Justin McGuirk、Design Museumチーフキュレーター
Climate Crisis >> Art Actionでの講演より

GCC 2023		34		
ギャラリーとアートセクターのための 脱炭素アクションプラン		廃棄物を削減する 5つのステップ		
CONTENTS				
📖 イントロダクション				
1 コンテキスト				
2 脱炭素戦略				
3 廃棄物戦略		● STEP 1 ニアゼロウェイスト目標を設定する		アート作品の輸送で環境に配慮した梱包資材を選ぼうとすると、ジレンマに陥ることがあります。
4 障壁に対処する		● STEP 2 廃棄物監査を実施する		一方では、最も地球へのダメージが少ない素材、たとえば再生可能な資源に由来し、カーボンフットプリントが低く、かつ／または何度でも再利用できる耐久性のある素材を使用すべきです。そのうえで、カーブサイド・リサイクルが可能な素材（例：地方自治体や地方議会、州の廃棄物管理で処理可能な素材など）か、使用後に生分解される素材であることが望まれます。しかしその一方で、物品の安全な輸送を確保することが最優先事項であるため、ケースバイケースの判断が必要です。
5 よくある質問				従来の美術品輸送で使用されてきた合成梱包資材（プラスチックフィルム、ポリフォーム、プチプチ、タイベックなど）は梱包資材としてさまざまな使い方が試されてきたとはいえ、石油化学によって製造されたものです。つまり、化石燃料に由来する化学物質が使用され、自然環境にも人間にも有害なプロセスで製造されているのです。
📖 用語集				これらの素材は、理論上はリサイクル可能です。しかし、インフラが不足しているためリサイクルされないことが多く、ほとんどは焼却されるか（大量のCO ² と有害物質を排出し、空気や水を汚染します）、埋立地に送られます。
もっと詳しく		● STEP 3 梱包方法を見直す		このようなリサイクル困難な素材については引き取りプログラムや回収拠点があってもありますが、地域によって異なり、また大口しか受け入れてもらえないことが多く、保管場所や実現可能性の問題があります。
📄 GCC 梱包ガイドライン		● STEP 4 5Rを実行する		残念ながら、サステナブルな梱包に関して包括的に推奨できることはありません。しかし、廃棄物ピラミッドは指針となる原則を提供し、最善策を示してくれます。
		● STEP 5 循環型社会へ移行する		
				最適な梱包方法を決めるにあたっては、以下を考慮することが重要です。
				• ローカルで入手可能な梱包材にはどんな種類のものがあるか？
				• 作品の素材と壊れやすさは？ 避けるべき梱包材は？ どのくらいの梱包が必要？
				• 作品輸送は片道のみか、複数回か？ 複数回の場合は、耐久性があり再利用可能な素材が望ましい。片道の場合は、自然由来の素材を探す。
				• 輸送時間や保管の見込みはどれくらいか？ これにより、再利用可能な素材よりもバイオベース素材のほうがよいかどうかを判断することができる。
				• あなたの組織が利用可能なローカルの廃棄物処理システムは何で、リサイクルしやすい素材は何か？ これらを明確にするために廃棄物管理会社に問い合わせる。

CONTENTS

📄 イントロダクション

1 コンテキスト

2 脱炭素戦略

3 廃棄物戦略

4 障壁に対処する

5 よくある質問

用語集

もっと詳しく

☑ GCC | 廃棄物ガイドライン

廃棄物を削減する 5つのステップ

● STEP 1 ニアゼロウェイスト目標を設定する

● STEP 2 廃棄物監査を実施する

● STEP 3 梱包方法を見直す

● STEP 4 5Rを実行する

● STEP 5 循環型社会へ移行する

5Rは廃棄物の管理・削減のためのガイドです。Refuse（断る）、Reduce（削減する）、Reuse（再利用する）、Repurpose（別の用途に使う）、Recycle（リサイクルする）の順で階層構造になっています。

■ REFUSE : 断る

- 不必要に梱包材を使用しないようサプライヤーに伝える。GCCの禁止素材リストを伝え、代替品の使用を依頼する。
- 使い捨てのプラスチックは拒否する。やむを得ず合成素材を使用する場合は、何度も再利用できるかどうかを確認する。
- 可能な限り、合成梱包材の使用をやめて天然の生分解性製品で代用する。

- 使い捨てのプラスチックは拒否する。やむを得ず合成素材を使用する場合は、何度も再利用できるかどうかを確認する。

- 可能な限り、合成梱包材の使用をやめて天然の生分解性製品で代用する。

■ REDUCE : 削減する

- 手始めに、木箱や梱包方法をデザインしなおして梱包材の量を減らす。PACCIN*が梱包方法のベスト・プラクティスを紹介している。

- 安全な輸送に必要な梱包材の量を見直す。

- 今後1年間で発注する梱包材の量を半減させるべく目標を立てる。

- 額装会社やその他のサプライヤーに対し、とくに短い距離の輸送では梱包を最小限にするよう依頼する。

- 梱包時の空きスペースを過剰な梱包材で埋めないよう、箱を特注するか適切なサイズの箱を使用する。

- 梱包材を再利用し、できるだけ長く使い続けることもサステナブル戦略になる。GCC 梱包ガイドラインでは、再利用のためにタイベックを洗淨する、種々の梱包材が破れない（そして使用後は完全に

処分できる) 梱包テープを選ぶといったアイデアを提供している。

REUSE : 再利用する

- 資材を無駄なく再利用するため、適切な梱包技術を採用する。誇りを持って資材を効率的かつ持続的に使用すること。

- 合成梱包材を長持ちさせるために、清潔を保つ。作品を梱包する前に表面を拭き、箱のなかでほこりや汚れがつかないようにしたうえで梱包材を保管する。保管場所は定期的に清掃する。

- 「テープと資材のおすすめの組み合わせ表」を参照して、包装材の寿命を延ばす。

- タイベックは汎用性が高く、環境負荷の低い素材であり、適切に手入れすれば何度でも再利用できる。

- テープの使用による劣化を最小限に抑え、できるだけ再利用可能にするために、どのテープがどの素材と相性が良いかを把握しておく。

- タイベックには表と裏がある。正しい使い方をするために、どちらがどちらか把握しておく。

- タイベックは湿らせた布で洗淨できる。

- 梱包材に、再利用してもらうための指示ラベルを貼っておく。

- 木箱や袋など、再利用可能な美術品梱包材を優先して使用する。

- ブランケット、綿のストラップ、グラシン紙など、昔ながらの素材は再利用可能で環境負荷が少ない。

* 訳注：PACCIN (Preparation, Art handling, Collections Care Information Network) は、美術館、アーカイブ、ギャラリーなど、文化財の保護・保存に携わる専門家によって構成されるネットワーク。

廃棄物を削減する 5つのステップ

CONTENTS

📄 イントロダクション

1 コンテキスト

2 脱炭素戦略

3 廃棄物戦略

4 障壁に対処する

5 よくある質問

用語集

もっと詳しく

 [BARDER.art](#)

 PACCIN

☑ GCC | 廃棄物について

- ## ● STEP 1 ニアゼロウェイスト目標を設定する

- ## ● STEP 2 廃棄物監査を実施する

- ### ● STEP 3 梱包方法を見直す

- ## ● STEP 4 5Rを実行する

- ## ● STEP 5 循環型社会へ移行する

- 展示什器は壊れるまで再利用する。在庫品を把握し、それに基づいて計画を立てる。複数回使用できない資材や機器は購入しないようにする。

- 機器や什器、資材をほかの組織と共有し、新たな物品が生み出されないようにする。

■ **REPURPOSE** : 別の用途に使う

- 「くず入れ」を用意して、資材の切れ端を入れておく。

- 受け取った資材を保管し、将来の使用に備える。

- 段ボールを用いたタブテクニック*などによって、美術品の梱包材を通常の梱包に再利用する。

- 額装された作品用のソフトパック**として段ボールを再利用する。

- タイベックや発泡スチロールの端材を、木箱に敷き詰める緩衝材にする。

- 美術品梱包に適さなくなった素材をアトリエや地元の学校、コミュニティセンターにシェアしたり、[BARDER.art](#)のような素材共有プラットフォームに投稿する。

- 既存の展示用家具は不燃ごみとして埋め立て処分するのではなく、修理したり、改造・改良するなどする。

■ RECYCLE : リサイクルする

- リサイクルは想像以上に難しい。ほとんどの自治体のリサイクル施設にはプラスチックをポリマー（高分子化合物）ごとに分別する設備がないため、リサイクルせず焼却処分してしまうことが多い。

- ビニール袋やフィルム、ラップは、リサイクル施設の機械を詰まらせ

るためカーブサイド・リサイクル(家庭ごみ回収ルートでのリサイクル)が不可能になっている。発泡スチロールやタイベックも、ほとんどはカーブサイド・リサイクルができない。しかし、地域によっては、これらの素材についてのさまざまなリサイクル・プログラムが用意されているところがある。

- リサイクルプログラムの詳細については、GCC の廃棄物に関する資料またはあなたの地域の GCC サブサイトで情報を得てください。

* 訳注:タブテクニック(tabbing technique)とは、段ボールの一部に切り込みを入れ、折り曲げて物品を固定する手法のこと。

** 訳注:美術品輸送においてはおもに、木箱ではなく紙や布などの比較的柔らかい素材を用いて梱包することを指す。

GCC 2023 37 ギャラリーとアートセクターのための脱炭素アクションプラン	廃棄物を削減する5つのステップ	廃棄物問題を根本的に解決するために必要なのは、循環型経済です。消費方法を変えない限り、サステナビリティの実現はありません。	
CONTENTS		アートセクターにおいては、梱包材の消費と廃棄が問題となっています。これを解決するためには、システムのイノベーション、責任の所在を明確にすること、そしてサーキュラリティが早急に必要です。	● 廃棄物に対する3つのアプローチ
📖 イントロダクション			
1 コンテキスト			
2 脱炭素戦略			
3 廃棄物戦略			
4 障壁に対処する	● STEP 1 ニアゼロウェイスト目標を設定する	使用するすべての製品が再利用やリサイクル、堆肥化できるようにするため、真にサステナブルな資材を導入したり、開発を支援するなどする。	
5 よくある質問		資材ができるだけ長くシステム内に残るように循環させる。	
📖 用語集	● STEP 2 廃棄物監査を実施する	使用後に完全に処分または再利用できない資材は、収集、分別、リサイクル、または堆肥化する必要がある。これらのシステムを改善し、拡大していくことが、サーキュラーエコノミー実現のためには重要である。	
もっと詳しく			
📄 GCC サークュラリティの基本理念	● STEP 3 梱包方法を見直す		
	● STEP 4 5Rを実行する		
● STEP 5	循環型社会へ移行する	“現在の経済では、私たちは地球から資源を採取し、それを製品にして、最終的にはゴミとして捨てるという直線的なプロセスになっています。サーキュラーエコノミーは対照的に、最初の段階でゴミの発生を阻止するのです”	
		<u>エレン・マッカーサー財団</u>	
			リニア（直線型）エコノミー リサイクリングエコノミー サーキュラーエコノミー

CONTENTS

📖 イントロダクション

1 コンテキスト

2 脱炭素戦略

3 廃棄物戦略

4 障壁に対処する

5 よくある質問

📖 用語集

Addressing the
4 obstacles障壁に対処する

悪い習慣と社会的慣習39

財務上の制約40

保険41

組織の賛同を得る42

地域差43

技術的な限界44

時間的な影響45

GCC 2023 39 ギャラリーとアートセクターのための 脱炭素アクションプラン		
CONTENTS 目次 イントロダクション 1 コンテキスト 2 脱炭素戦略 3 廃棄物戦略 4 障壁に対処する 5 よくある質問 用語集	私たちは、最も強力な脱炭素ツールがあります。それは、「なぜ?」と問いかけること。たったひとつの作品を輸送するのにトップクラスの国際宅配便を使う、過剰なエネルギーを消費する空調設定にするなど、汚染の原因となるアート界の数々の慣行は、それが必要だからというより、習慣になっているがゆえに繰り返されています。私たちはみな、気候非常事態にふさわしくない慣習やしきたりに異議を申し立てると同時に、誰かの「なぜ?」にきちんと耳を傾けられるようになる必要があるのです。 職場で長年続いてきた慣行に対して疑問を持つのは、少し勇気がいることかもしれませんが。でも、周りにも同じように感じている人々がたくさんいるかもしれないということを、心に留めておいてください。<u>気候危機への関心はここ数年で急激に高まっています</u>、いまや世界中で圧倒的多数の人々がアクションの必要性を理解しています。このような関心の高まりが、おそらく一般社会よりも芸術文化セクターにおいてより強く反映されていることを、GCC では実感しています。	
	職場で何かを変えるのが難しく感じるときは、無理にひとりでやろうとしないこと。同僚に相談し、味方を見つけ、クリエイティブで上手なやり方を見つけてください。そして、何をなぜ変える必要があるのか示すのです。 もちろん、異議を唱えなくてはならないのは自分たちの組織の慣行だけではありません。パートナーや協力者の慣行をも疑う必要があります。これはもっと厄介かもしれません。でも肝心なのは、「ノー」と言うのを恐れないこと。もし相手が二酸化炭素排出量の多い活動に固執して妥協しないのなら、今後はもうコラボレーションしたりパートナーシップを組んだりしないと宣言するのです。気候非常事態をよく理解しているパートナーやプロジェクトの進め方はほかに見つかるでしょう。	

GCC 2023 40 ギャラリーとアートセクターのための 脱炭素アクションプラン		
CONTENTS	いまは多くの企業にとって資金的に厳しい時期です。長い目で見れば経費節減になるとわかっている、低炭素化対策に投資するのは定期的に困難かもしれません。	
📖 イントロダクション		
1 コンテキスト		
2 脱炭素戦略		
3 廃棄物戦略		
4 障壁に対処する	そのような場合は、以下をおすすめします。 - 金銭的負担のかからないことから着手する。たとえば、不要な出張を控えたり、<u>美術品輸送を航空便から船便に切り替えたり</u>、展示資材を再利用したりするなど、すぐさまコスト削減できる対策はある。ほかには、スタッフがエネルギー効率の良い行動をとれるよう研修する、仕入先に自身の排出量を削減するよう働きかけるなども。これらもほとんどコストがかからない。 - 最も違いが出やすいところに予算を集中させる。たとえば <u>Ethical Consumer magazine</u> によると、「グリーン」な電力会社に切り替えてもわずかな違いしか生まないのに高くつく場合がある。予算に余裕ができるまでは、電力会社を切り替える代わりに性能の高い断熱材や LED 照明に支出するほうが、二酸化炭素排出量とランニングコストのどちらにも削減効果が期待できる。 - 断熱材のアップグレード、ソーラーパネルの設置、ガスボイラーからヒートポンプへの切り替えなど、多額の先行投資を必要とするアクションを検討している場合は、ひとまず（金銭面と二酸化炭素の両方の観点からみた）コストと長期的な節約について、できるだけベストな情報を入手することから始める。選択肢とコストについて明確なイメージができれば、どのように資金調達するか計画を立て、スケジュールを決める。政府、銀行、電力会社らが提供している低炭素化のための助成金やお得な融資オプションがどんどん利用しやすくなっている。	
5 よくある質問		
📖 用語集		
		継続的にコストがかかるアクション（気候変動に配慮した仕入先や請負業者への切り替えなど）については、地元地域にある環境意識の高い仕入先やスタートアップ企業との取引や提携ができるかを確認する。それらの企業は、あなたの事業と公的に提携することで注目を集められるなら、やってみる価値があると感じてくれるかもしれない。

GCC 2023 41 ギャラリーとアートセクターのための脱炭素アクションプラン		保険会社自身が、自らの気候への影響を軽減するために何をおこなっているか、質問してください。そうすることで、より良くより迅速に変革を実行するよう保険業界にプレッシャーをかけることができます。
CONTENTS 目次 イントロダクション 1 コンテキスト 2 脱炭素戦略 3 廃棄物戦略 4 障壁に対処する 5 よくある質問 用語集	発送方法をアップデートしたり、HVAC（暖房・換気・空調）システムを変更したりしようとするとき、保険は無視できない障壁になりがちです。保険の専門家でもなければ簡単にはクリアできそうもないと感じられるかもしれません。 ■ コミュニケーションが鍵になる 変革を実行するための重要なステップとなるのが、保険会社や保険ブローカーと話し合うこと。保険会社や保険ブローカーに、あなたの二酸化炭素削減目標や業務改善の動機を理解してもらうのです。多くの保険会社や保険ブローカーは、顧客でなくとも無料でリスクマネジメントについてアドバイスしてくれます。 GCCは発足以来、保険業界と良好な協力関係を築き、変えるのは難しいと思われていた分野で重要なブレークスルーを起こしてきました。 たとえば、GCCのサステナブルな海上輸送キャンペーンの一環として、ロイズ市場協会（Lloyd’s Market Association:LMA）の合同正貨委員会（Joint Specie Committee）代表と協力して、海上輸送される美術品の保険に関するベストプラクティス・ガイドラインを作成しました。ここで紹介している輸送方法が広く採用されることを期待してのことです。 この合意に達するために保険業界の競合他社が一堂に会し、変革の緊急性と必要性について話し合い、一丸となって解決策を導き出しました。	
	■ 変化は起きている 気候変動による大災害に直面した保険業界は、脱炭素社会への移行をどのように支援できるか、腰を据えて考える必要性に迫られています。クライメートアクションが勢いを増すにつれ、視覚芸術セクターが環境責任を果たすために必要な変更が保険契約に反映されるようになることでしょう。 このような大きな転換を行う一方で、あらゆる形・規模の組織が障壁を取り除き、今日にも変革を実行できるよう、効果的なアクションをまとめました。 ■ 効果的なアクション 保険会社や保険ブローカーに連絡して、いま契約している保険で何がカバーされ、何がカバーされていないかを把握してください。これにより、チーム全体に一定のリテラシーが生まれます。多くの保険会社や保険ブローカーが、顧客でなくとも無料でリスクマネジメントのアドバイスをしてくれます。ぜひこれを利用してください。 変革を実行しようとする際は、保険業者や保険ブローカーに対する質問リストを用意してください。何を変更したいのか、それが保険にどのような影響を与えるか（例:もし業務内の発送方法に変更を加えらしたら、保険契約にどのような影響がありますか?）。 必ずセカンドオピニオン、できればサードオピニオンを得ること。もし答えが「ノー」なら、間違った相手に相談している可能性があります。	

GCC 2023 42 ギャラリーとアートセクターのための 脱炭素アクションプラン		
CONTENTS		
Ⅱ イントロダクション		
1 コンテキスト		
2 脱炭素戦略		
3 廃棄物戦略		
4 障壁に対処する		
5 よくある質問		
Ⅲ 用語集		
	自分の職務内でできる有益なアクションは必ずある一方で、もっと広範囲に気候アクションをおこなうためには、経営幹部の支持を得ることがほぼ間違いなく必要不可欠です。 そうした人々が気候危機に対処する必要性にまだ納得していないなら、彼らの興味や関心と気候危機をよりダイレクトにつなげるよう試みてください。留意すべきポイントは次のとおりです。 - ひとりでやろうとしないこと。まずは、環境危機に対して迅速かつ意欲的に行動することが必要だという意識を共有している仲間を組織内で見つけて、ネットワークを構築することから始める。 - 可能なら、良い事例を作る。「こんなアクションが実行できる」ということだけでなく、スタッフやオーディエンス、そのほか主要なステークホルダーにも好評なのだと示すため、自分の役割のなかでできることを行う。 - シニアスタッフと話し、その取り組みを受け入れる際のおもな懸念点や障壁と思われそうなことを聞き出す。コストやスタッフの時間、収益への潜在的な脅威を心配しているのか？ 自組織が気候危機に関して積極的に発言するようになったら、リップサービスやグリーンウォッシュだと非難を受けてしまうことを懸念しているのか？ これらの点について相手を安心させる際のアドバイスは、これまでに紹介したとおり。気候変動対策のコストは低く抑えられるし、長い目で見ればいますぐアクションを起こすほうが時間や費用を節約できる。後ろめたい思いをすることも避けられる。 - 類似の組織がアクションを起こし、経費節減や評判の向上、レピュテーションリスクの回避などに成功した事例を探し、共有する。	自組織とその課題に適した変革のため、GCC のイベントやリソースにアンテナを張って業界内の人々とながり、確かな事例をつくる。具体的なニーズや要望があれば GCC に知らせる。

GCC 2023 43 ギャラリーとアートセクターのための脱炭素アクションプラン		
CONTENTS 📖 イントロダクション 1 コンテキスト 2 脱炭素戦略 3 廃棄物戦略 4 障壁に対処する 5 よくある質問 📖 用語集	GCCは40ヶ国以上にメンバーがいます。私たちはこのドキュメントをできるだけ国際的に通用するものにすべく努めていますが、文化や慣行、法律、資金調達、環境保護に関するソリューションへのアクセスや費用の手頃さなど、地域によって多くの違いがあります。 このドキュメントで取り上げている問題について、もっと地域的な視座が必要な場合は知らせてください。GCCには、ベルリンやロサンゼルス、ニューヨーク、台湾、そしてイタリアやスペインに、ボランティアが運営する支部があります。そのほかさまざまな地域にも、地元のナレッジを喜んで教えてくれるギャラリーや企業とのつながりがあります。 反対に、より広いネットワークに共有することが重要だと思われる特定の地域の視座をお持ちの場合も、ぜひお知らせください。	

GCC 2023 44 ギャラリーとアートセクターのための 脱炭素アクションプラン		
CONTENTS 📖 イントロダクション 1 コンテキスト 2 脱炭素戦略 3 廃棄物戦略 4 障壁に対処する 5 よくある質問 📖 用語集	脱炭素社会において必要となるテクノロジーはすべて、もうすでに存在しています。英国ウェールズにある The Centre for Alternative Technology (代替技術センター) は、化石燃料に依存した経済が、既存の再生可能技術によってどのように完全脱炭素化できるかを示した一連の「<u>ゼロカーボン・ブリテン報告書</u>」を通じて、このことを長年にわたって実証してきました。課題は、いかにこうした技術を手頃な価格で誰もが利用できるようにするか。そしてそれをいかにあらゆる場所で進めていくか、ということです。 良いニュースは、この分野の発展が急速に進んでいること。ソーラーパネルの価格は過去10年間で90%下がりました。2022年の調査では、英国におけるバンのライフタイム全期間のコスト総額は、EV車のほうがディーゼル車より25%低いことが明らかになっています。世界的には、建物の暖房の約10%はすでに空気熱源や地中熱源のヒートポンプによって提供されており、この割合は年々着実に増加しています。これらの傾向は新型コロナウイルスのパンデミックとウクライナ侵攻によって一時的に鈍化しましたが、2022年と2023年に米国、EU、中国およびその他の主要国が低炭素技術への大規模な投資を行ったことで、事態は加速すると見られています。	
	バッテリーから風力タービンまで、主要な脱炭素技術のコストが下がり続けているため、経験則から次のことが言えます。もし去年、低炭素のソリューションが高価で入手できなかったなら、いま一度チェックしてみてください。おそらく価格は下がっているでしょうし、新しい助成金を利用可能になっているかもしれません。また、あなたがまさに求めているソリューションを地元の新しいスタートアップ企業が提供しているかもしれません。	

// これはディーラーに変化を
強要するものではありません。
問題を明らかにし、強力なインパクトを
もたらすシンプルなステップを
メンバーが理解できるように
するためのものです。

GCC 2023		47
ギャラリーとアートセクターのための 脱炭素アクションプラン		
CONTENTS		
📖 イントロダクション		
1 コンテキスト		
2 脱炭素戦略		
3 廃棄物戦略		
4 障壁に対処する		
5 よくある質問		
📖 用語集		
5 FAQs よくある質問		
フットプリントに何を含めるべきか？		48
GCCのカーボン計算機には何が・なぜ含まれる？		49
カーボン・バジェットを作成するには？		50
カーボンオフセットはどうか？		52
「ネットゼロ」はどうなのか？		53
もしすでに「ネットゼロ」や「カーボンニュートラル」を目標に掲げていたら？		54
基準値を2019年の数値に設定できない場合はどうすればよいか？		55
もし組織が拡大を計画しているなら？		56
炭素排出量を報告する法的義務はある？		57

CONTENTS	
📖	イントロダクション
1	コンテキスト
2	脱炭素戦略
3	廃棄物戦略
4	障壁に対処する
5	よくある質問
📖	用語集
もっと詳しく	
📄	GCC カーボン計算機

フットプリントに何を含めるべきか？

カーボンフットプリントを計算するのは、アクションを起こす最良の機会を把握し、その目標に向けた進捗状況を追跡するためです。つまり、すべてを完璧かつ詳細に計測する必要はないということ。その代わり、この取り組みに費やす時間や資源が限られている場合はとくに、フットプリントのなかでも最も大きな変化をもたらす部分に焦点を当てることをおすすめします。

視覚芸術セクターの3大排出源は、**建物のエネルギー使用、スタッフの移動、美術品の輸送**です。これらはいずれも測定しやすく、すぐに実行できるアクションの選択肢がたくさんある領域でもあります。必ずカーボンフットプリントに含めるべきです。[GCCが提供する無料のオンラインカーボン計算機](#)で算出できます。

梱包と印刷は一般的に言って、建物のエネルギー使用やスタッフ移動、美術品輸送と比べてカーボンフットプリントが少ない分野ですが、可能であれば含めるべきです。というのも、これらは気候への影響とは別に、ほかの重要な環境問題（たとえばプラスチックごみの問題や材料資源の持続不可能な利用など）に結びついているからです。これらのカーボンフットプリントも、GCCの無料オンラインカーボン計算機で推定できます。

GCCメンバーのなかでもとくに、コマーシャルメンバーより非営利団体や公共団体のメンバーのほうが関連性が高いと思いますが、**スタッフの通勤や来訪者の移動**については計測が複雑なため、GCCのカーボン計算機にまだ反映できていません。アート関連組織がこれらの排出量をより簡単に見積もれるよう、新しいツールを目下開発しているところですが、それまではカーボンフットプリントに含めづらいかもしれません。

そのほかの活動（ギャラリーの廃棄物、水の使用、展示資材、美術品以外の輸送や配送など）は、上記の大きな項目に比べればカーボンフットプリントに加算する量は少ないはずです。時間やキャパシティが限られているなら、はじめのうちはこれらの要素をカーボンフットプリントから除外することをおすすめします（ただしその際は透明性を確保してください）。

将来的にアート関連組織がこれらの要素のフットプリントをもっと簡単に計算できるよう、私たちはGCCカーボン計算機のアップデートに取り組んでいるところです。今すぐこれらを含めたい場合は、[Julie's Bicycle](#)のカーボンツールを使用することをおすすめします。またその一方で、2030年までに廃棄物をほぼゼロにするという目標も達成するために、アート関連組織は引き続きギャラリーの廃棄物や展示資材を最小限に抑えるよう取り組む必要があります。

GCC 2023 51 （ 2 / 2 ） ギャラリーとアートセクターのための脱炭素アクションプラン	カーボン・バジェットを作成するには？	
CONTENTS	• すでに進めている計画と調和させる。 効果を生むためには、主要な計画を話し合う会議でカーボン・バジェットが議論され、組織全体の責任として引き受けられる必要があります。日々の個人による意思決定に任せっぱなしではうまくいきません。たとえば、アートフェアへの参加回数を増やすことが決まっているのに、経営陣がスタッフの飛行機利用を10％減らすよう求めたとしたらどうでしょう。実行するスタッフを経営陣が支援し、変更（たとえば各イベントに参加するスタッフの数を減らすなど）に同意しなければ、そのフライトのバジェットを達成するのは困難だとスタッフは感じるでしょう。 • 財務予算との整合性をとる。 メッセージが矛盾して伝わったり、間違った方向にやる気が向いてしまうのを避けるため、飛行機利用の10％削減を計画するなら飛行機利用の財務予算も10％削減して、電車移動やビデオ会議の予算を増やすべきです。	
📖 イントロダクション		
1 コンテキスト		
2 脱炭素戦略		
3 廃棄物戦略		
4 障壁に対処する		
5 よくある質問		
📖 用語集		

GCC 2023 52 ギャラリーとアートセクターのための 脱炭素アクションプラン	カーボンオフセットはどうか？	
CONTENTS 📖 イントロダクション 1 コンテキスト 2 脱炭素戦略 3 廃棄物戦略 4 障壁に対処する 5 よくある質問 📖 用語集 🔍 もっと詳しく 📄 GCC 戦略的気候基金 (Strategic Climate Funds: SCFs)	よく次の質問をされます。 「削減できない排出量はオフセットすべきですか？」 GCCでは、従来のオフセット・スキームに反対しています。これらの多くで主張されている効果を検証することは困難であり、仮に計画どおり機能したとしても、2030年までの期限内に必要な量を削減できる可能性は低いからです。オフセットの問題に関して詳しく知りたい方は、こちらの最新情報をご覧ください。 その代わり、すぐに好影響をもたらすと確信を持っておすすめできるのが、社内外のプロジェクトに資金を投入することです。将来の排出量の一部と「均衡をとる」または「中和させる」などと主張するスキームに資金を費やすのではなく（ほとんどの主張は正当化が困難です）、もっと短い期間で迅速に自社の排出量を減らせる施策や、より広範なシステム・チェンジを加速させる施策に、その資金を使うことをおすすめします（たとえ具体的なカーボンの数値は示せないとしても、です）。 私たちはこのアプローチを「戦略的気候基金」（Strategic Climate Funds: SCFs）と呼んでいます。SCFsの詳細については27ページのSCFの項を参照してください。	

CONTENTS	
目次	イントロダクション
1	コンテキスト
2	脱炭素戦略
3	廃棄物戦略
4	障壁に対処する
5	よくある質問
目次	用語集
もっと詳しく	
目次	GCC 戦略的気候基金 (Strategic Climate Funds: SCFs)

「ネットゼロ」はどのようなか？

「ネットゼロ」目標とカーボンオフセットについてのGCCからのアドバイスをここでお伝えます。この見解を共有する環境団体や慈善団体は増え続けており、アート関連組織が気候目標やアクションプランをシンプルにする一助となることを願っています。

「ネットゼロ」目標とカーボンオフセットについてのGCCからのアドバイスをここでお伝えます。この見解を共有する環境団体や慈善団体は増え続けており、アート関連組織が気候目標やアクションプランをシンプルにする一助となることを願っています。

「ネットゼロ」は地球規模で見れば意義がありますが、(大規模な土地を所有または管理していない) 個々の組織の目標としてはまったくと言っていいほど無意味です。もし地球規模でネットゼロを達成しようとするなら、温室効果ガスを排出するすべての人々が排出量を速やかに削減し、陸や海に責任を持つすべての人々がこの生きている惑星(ルビ: リビング・プラネット)によってもたらされる天然の炭素貯蔵庫を守り、広げていく必要があります。それぞれの組織は、自分たちが最も影響力や責任のある領域にフォーカスし、その排出量と吸収量のバランスシートに注力したほうが、事業運営で「帳消しにした」と見せかけるためにリソースを使うよりもはるかに合理的です。とくに、帳消しするための主な手段がオフセットである場合、その実践にはさまざまな問題がはらんでいます(詳細は本ドキュメントのSCFセクションを参照ください)。

つまり、少し意外かもしれませんが、世界規模のネットゼロを達成する最善の方法は、個々の組織でネットゼロ目標を設定せず、排出量を削減するか炭素吸収量を増やすかして最も変化を生みそうな施策にリソースを集中させることなのではないでしょうか。公園や森林を所有でもしていない限り、芸術文化分野に携わる人の多くが最大の影響を生み出せるのは排出量の削減なのです。

パリ協定から3年後の2018年、地球の温暖化を1.5℃に抑えるためのより明確で重要な目標が、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)による「1.5℃特別報告書」で示されました。それは、2030年までに全体の排出量を2010年比で45%削減(2019年比では50%削減)することです。そしてこれは、GCCが全メンバーに求める最低目標でもあります。できるだけ早く、できるだけ「本当のゼロ」に近づくことを強く呼びかけています。

ここで、GCCの「戦略的気候基金(SCFs: Strategic Climate Funds)」の出番です。メンバーの意欲向上を促し、問題だらけのカーボンニュートラル目標やオフセットスキームに煩わされることなく、最前線の気候変動対策に取り組めるよう支援していきます(詳細は本ドキュメントのSCFセクションをご参照ください)。

CONTENTS

📖 イントロダクション

1 コンテキスト

2 脱炭素戦略

3 廃棄物戦略

4 障壁に対処する

5 よくある質問

📖 用語集

もっと詳しく

📄 GCC | 戦略的気候基金 (Strategic Climate Funds: SCFs)

もしすでに「ネットゼロ」や「カーボンニュートラル」を
目標に掲げていたら？

心配無用です！ 政府やその他組織の動きにならい、多くの組織がこのような目標を掲げています*。私たちが提唱しているのは、ネットゼロ目標をいますぐに変更することではありません。これらの目標の多くは、みなさんが組織内で努力と説得を繰り返した結果、苦勞して勝ち取ったものです。加えて、目標は上位機関（地方自治体や大学など）によって設定されているため、個々の組織が直接コントロールできない場合も多いのではないのでしょうか。

その代わり、下記をおすすめします。

- 「ネットゼロ」または「カーボンニュートラル」目標への道筋に、実際の排出量を2030年までに最低50%削減することが含まれているかを確認してください。SBT イニシアチブ (Science-Based Targets Initiative) の最新ガイダンスでは、オフセットは排出削減目標量の5～10%以上を埋め合わせるために利用されるべきではない、とされています。つまり、「ネットゼロ」目標は、期日までに実際の排出量を少なくとも90%削減することを（ベストプラクティスで）約束するものだということです。「ネットゼロ」目標が2030年であれば、2030年までに排出量を90%削減することを事実上すでに約束していることになり、GCC の目標とはすでに十二分に合致していることになります。

- 「ネットゼロ」の部分に目標の重点を置かず、代わりに2030年までに排出量を削減することの緊急性に目を向け、それに向けたアクションに専念してください。2026年または2027年までの具体的なカーボンフットプリント削減目標のマイルストーンを設定し、それを達成するための計画を立てます。

- タイミングを見計らい、できればネットゼロ／カーボンニュートラルの目標を見直して、現在起こっている問題やオフセットに対する懸念の高まりを受けてもまだそれが目的に適っているかどうか、チェックしてください。「ネットゼロ」の最新の基準では、実際の排出量を90～95%削減することが求められています。それをシンプルに目標として設定した場合のメリットとデメリットはなんのでしょうか？ 逆に、ネットゼロ目標を達成するために、SBTiのガイドラインで定められているより多くのオフセットが必要になるとしたら、オフセットに投じなかった分の資金（および時間）をどのように使うことができるのでしょうか？

- ネットゼロ目標から離れることを選んだら、戦略的気候基金（下記参照）を設立してください。ポジティブな代替案として明確な削減目標を設定すれば、この変更が気候科学に沿って戦略的にリソースを活用するためのものであり、意欲の低下によるものではないということを示せます。

* 2015年のパリ協定を受け、多くの国や組織が「2050年までにネットゼロ」という目標を独自に設定しました。ほとんどが疑いの余地なく誠意によるものですが、この目標が何十年も先のものであるだけでなく、オフセットの利用や（未検証の）将来的な「炭素回収」技術の開発見込みを許してしまっていることは無視できません。実際の排出量削減を回避したい政府や企業にとって魅力的であるため、その他の多くの組織が「ネットゼロ」目標は最善策であると思ひ込み、同様の目標を設定してしまうという事態が引き起こされました。

GCC 2023 55 ギャラリーとアートセクターのための 脱炭素アクションプラン	基準値を2019年の数値に設定できない場合は どうすればよいか？	
CONTENTS	もし、（2019年のデータが入手できない、組織が現在の形態で存在していなかった、などの事情により）2019年の数値を基準値として設定することができない場合は、代わりに2021年の数値を基準値として使用することができます。	
📖 イントロダクション		
1 コンテキスト		
2 脱炭素戦略		
3 廃棄物戦略		
4 障壁に対処する		
5 よくある質問	2021年の全世界の排出量は2019年よりわずかに多かっただけなので（新型コロナウイルス感染症パンデミックの混乱直後だったため）、2021年な妥当な指標として代用することができます。これにより、パンデミック以前の事業の排出量を把握できるようになり、現在の排出量と比較することで、さまざまな種類の有益な情報を得られます。	
📖 用語集		
もっと詳しく		
📄 GCC カーボン計算機		

GCC 2023 56 ギャラリーとアートセクターのための脱炭素アクションプラン	もし組織が拡大を計画しているなら？	
CONTENTS 📖 イントロダクション 1 コンテキスト 2 脱炭素戦略 3 廃棄物戦略 4 障壁に対処する 5 よくある質問 📖 用語集	たとえばギャラリーを新たにオープンさせるなど、今から2030年までのあいだに事業を拡大させようと計画しているアートギャラリーや関連企業は、事業をほぼ同じ規模で維持する予定の組織と比べてやや複雑な状況にあります。 まず、気候にとっては私たちの組織が成長しているかどうかなど関係ありません。重要なのは、私たちが大気中にどれだけの温室効果ガスを排出しているかということ。このような観点から見れば、たとえ規模を拡大する予定であったとしても、今後7年間で確実に排出量を半減させなくてはなりません。 その一方で、GCCの目標は「2030年までにアート業界全体のカーボンフットプリントを50%削減すること」であるため、その枠組みのなかである程度の融通を利かせることができるかもしれません。	
	もし、成長しているアート関連組織が、縮小したり閉鎖したりする他の組織(悲しいことにコロナ禍ではよく見られました)のスペースを活用しているような場合は、成長中の組織が相対的にカーボンフットプリントを削減している限り、セクター全体の排出量は今後さらに減少することになります。 2030年までに(50%以上の)大幅な成長を計画しているアート関連組織があれば、私たちにご相談ください。その計画が目標設定にどのような影響を与えるか、絶対的な目標ではなく相対的な目標を設定すべきかどうかについて話し合うことができます。私たちは、これをセクター全体に公平に適用しなければなりません。	興味深いテーマであり、私たちもすべての答えを持っているわけではありません。しかし、今後のイベントや資料でこの分野をさらに掘り下げていきたいと考えています。 事業拡大を計画している組織に勤めていて、その計画が排出削減目標にどう影響するかわからないという方、ぜひご連絡ください。お待ちしております。

GCC 2023 57 ギャラリーとアートセクターのための 脱炭素アクションプラン	炭素排出量を報告する法的義務はある？	
CONTENTS	簡潔に答えるなら、「ほとんどの場合はノー」です。しかし、近い将来この状況が変わる可能性がますます高まっています。	法律で義務付けられているかどうかにかかわらず、自主的にカーボンレポートを出すことには多くのメリットがあります。
📖 イントロダクション	もちろん、地域や組織の規模によって法律は異なります。自治体に問い合わせて、あなたの事業に関する正確な要件を確認してください。	• 低炭素であることを重視する取引先やクライアント、オーディエンスがますます増えている。
1 コンテキスト		• 測定することでエネルギーコストや輸送コストを削減できるようになる。
2 脱炭素戦略	英国では、ほとんどの企業には法的な炭素排出量の報告義務がありません。年間のエネルギー使用量と炭素排出量を報告する義務があるのは大企業だけです（年間売上高が3600万ポンド以上、貸借対照表の資産が1800万ポンド以上、または従業員が250人以上の企業）。	• 法制化が差し迫っているいま先手を打つことで、将来ビジネスの支えになる。
3 廃棄物戦略		
4 障壁に対処する		
5 よくある質問	米国では、同様の法律が州レベルで施行されようとしています。2023年10月、カリフォルニア州知事のギャビン・ニューサムは、年間売上高が10億ドル以上の企業に温室効果ガス排出量の報告を義務付ける法案に署名しました。	
📖 用語集	同様にEUは2023年初めに、企業が「気候中立」や「エコ」といった環境関連の用語を宣伝に使用することについて、正確性を証明できない限り禁止する法案を可決しました。また、大企業は2024年以降、年次報告書に環境情報開示を組み込むことが必須となります。これはその後、2026年までに段階的に中小企業へと拡大されます。	
	気候危機への対処がますます急務となるなかで、企業には排出量の透明性を、政府には法規制を求める声が高まっています。世界各地で炭素税や報告書の法制化が提起され、よりいっそう検討されるようになっています。	

CONTENTS

📖 イントロダクション

1 コンテキスト

2 脱炭素戦略

3 廃棄物戦略

4 障壁に対処する

5 よくある質問

📖 用語集

用語集

● カーボン監査 (CARBON AUDIT)

組織、個人、プロジェクトが排出する二酸化炭素換算量(CO²e)のアセスメントを行う。GCCカーボン計算機を用いたアセスメントよりも、より徹底的で詳細なものとなる。外部の監査人かコンサルタント、カーボン監査機関によって実施されるのが一般的。

● カーボンネガティブ (CARBON NEGATIVE)

地球全体の排出量が非常に少なくなり、人類が排出するよりも多くの量の炭素が(森林や土壌、海洋などが吸収することで)大気から除去されること。世界的に達成すべき目標であり、「ネットゼロ」を超えた次のステップとなる。製品や組織がカーボンネガティブになることは理論的には可能だが、(ネットゼロと同様に)地球規模で行われなければ達成は難しい。宣伝文句としてあちこちで謳われているが、信頼できる「カーボンネガティブ」な組織や製品はほとんど存在しない。オフセットと同じく、それが必要とする時間の問題もある。企業は、今後数十年の間に植林や土壌回復によって炭素を削減すれば、現在の排出量を帳消しして余りあると主張しているのである。

● カーボンニュートラル (CARBON NEUTRAL)

排出された温室効果ガスと同量の温室効果ガスが大気から除去されることで相殺されることを意味する。大気から温室効果ガスを除去する方法は限られている(たとえば、植林した樹木がCO²を吸収して酸素を放出するなど)。しかし、真に「ネットゼロ」にするためには、排出するのと同じスピードで大気から温室効果ガスを除去する必要があり、地球規模でおこなわなければ達成は非常に困難である。

● カーボンオフセット (CARBON OFFSETTING)

ある場所での排出を埋め合わせるために、ほかの場所で二酸化炭素やその他の温室効果ガスの排出を削減または除去すること。環境専門家のあいだで広く合意されているように、従来の「カーボンオフセット」は気候危機に取り組むための方法として最速でも公平でも、最も効果的でもない。したがって、GCCはカーボンオフセットの利用を推奨していない。その理由をここで概説している。

● 循環型経済 (CIRCULAR ECONOMY)

「廃棄物と汚染をなくす」「製品と素材を循環させる」「自然を再生させる」という3つの原則に基づいている。再生可能エネルギーと再生可能資源への移行が基盤となる。循環型経済は、有限な資源を必ずしも消費しない経済活動を目指す。ビジネスや人間、そして環境にとって有益でレジリエントなシステムである。

● CO²

二酸化炭素のこと。

● CO²E

二酸化炭素換算値(carbon dioxide equivalent)の略。さまざまなガスの地球温暖化係数(GWP)を測定し、共通の単位と比較するためのシステム。CO²eの合計には、亜酸化窒素(N₂O)やメタン(CH₄)のようなその他多くのガスの等価合計が含まれることが多い。

● 脱炭素 (DECARBONISATION)

化石燃料に依存した社会から脱するために、人間の活動に起因するCO²e排出量を削減すること。

● GCCカーボンレポート (GCC CARBON REPORT)

GCCの無料カーボン計算機を使って作成した報告書。カーボン監査とは異なる。カーボン計算機は簡単に使用できるよう設計されているため、さまざまな推定値や想定に依拠している。これによりユーザーは、自身の業務に関連する主要な分野の排出量の内訳を簡単に知ることができる(これらの測定基準については、[計算機のユーザーガイド](#)に詳細を掲載している)。また、ユーザーがデータを正しく入力することを前提としているため、カーボンレポートはその正確性を証明することはできず、したがって「監査」とはみなされない。

● 焼却 (INCINERATION)

多くの国では、埋め立て処分場へ行かなかった廃棄物は焼却施設で燃やされる。焼却は、燃烧技術を用いて燃やす廃棄物処理プロセスであり、多くの企業はこのプロセスで「廃棄物がエネルギーに変わる」と主張する。しかし調査によれば、焼却炉は環境と人間の健康に悪影響を及ぼすことがわかっている。

● ネットゼロ (NET ZERO)

2015年にパリで開催された国連気候変動会議において、世界各国の政府が世界的な気候目標について議論を交わした。具体的にいつまでどのくらい削減するかについての合意が得られなかったため、次のような妥協案に至った——人間社会が地球規模で排出する炭素の量は、今世紀後半までに自然(と何らかの技術)によって吸収される量と「相殺させる」べきだ、と。「2050年までにネットゼロ」というコンセプトはここから来ているのだが、これは最終的なゴールではなく、あくまでもゼロエミッションに向けてのひとつの節目である。

GCC 2023 59 ギャラリーとアートセクターのための脱炭素アクションプラン	(2 / 2) 用語集	
CONTENTS 📖 イントロダクション 1 コンテキスト 2 脱炭素戦略 3 廃棄物戦略 4 障壁に対処する 5 よくある質問 📖 用語集	● スコープ1排出量 (SCOPE 1 EMISSIONS) ある組織が直接排出する温室効果ガスのこと。建物の暖房に使ったガスや自動車の燃料として購入したガソリンなどはこれに該当する。 ● スコープ2排出量 (SCOPE 2 EMISSIONS) 組織が購入した電力を生産する際に排出した温室効果ガスのこと。 ● スコープ3排出量 (SCOPE 3 EMISSIONS) 組織が調達した製品を生産する際に使用した電力など、「間接的」に排出された温室効果ガスのこと。これには、タクシーや飛行機、印刷、輸送など、組織がお金を使ったものすべてが含まれる。 ● 戦略的気候基金 (STRATEGIC CLIMATE FUNDS: SCFS) 視覚芸術セクターのための倫理的な気候変動融資策としてGCCが立ち上げたもの。排出量の削減だけでは気候非常事態に対処するには不十分。私たちは脱炭素化を進め、効果的な気候変動対策に資金を投じなければならない。SCFsの仕組みについては24ページを参照のこと。 ● ゼロウェイスト (ZERO WASTE) 廃棄物の発生を抑えることにフォーカスした廃棄物管理手法のこと。製品や資材の寿命が長くなるよう設計され、埋め立て処分や焼却ではなく、再利用や修理、リサイクルできるようになる。	● 埋め立て廃棄物ゼロ (ZERO WASTE TO LANDFILL) 廃棄物をできるだけ埋め立て処分にしないことにフォーカスした廃棄物管理手法のこと。しかし、これは焼却や「廃棄物発電」施設を廃棄物管理のオルタナティブな解決策として美化し、廃棄物のさらなる発生を助長しかねない。 ● ゼロカーボン (ZERO CARBON) 製品やサービスから炭素が排出されないこと(たとえば、風力発電所による発電やバッテリーによる電力供給など)。風力や太陽光などのエネルギー源は、電力をつくる際に炭素を排出しないため、ゼロカーボンと呼ばれる。

GCC 2023 60 ギャラリーとアートセクターのための脱炭素アクションプラン		
CONTENTS イントロダクション コンテキスト 脱炭素戦略 廃棄物戦略 障壁に対処する よくある質問 用語集	● GCC (ギャラリー気候連合) について アートセクターのための環境サステナビリティガイドラインを提供する、国際的なメンバーからなる組織です。 この連合の第一目標は、2030年までに視覚芸術セクターの温室効果ガス排出量を最低でも50%削減すること(地球温暖化を1.5℃未満に抑えるというパリ協定の目標に沿って)、そして廃棄物ゼロを推進することです。 具体的な目標を掲げたメンバーからなる国際的なネットワークが連携し、効果的なアクションに注力することで、環境責任を果たす視覚芸術セクターをともにつくりことができると確信しています。 サステナブルなセクターの創造を目指すアーティスト、組織／非営利団体、アート関連企業やギャラリーからなる私たちの連合に、ぜひ参加してください。入会は無料で、誰でも参加できます。	みなさんからの惜しみないご支援によって、気候危機に対する実に有意義かつ各分野に特化した対応の基礎となるものを作り上げることができました。寄付者のみなさんからの継続的なご支援がなければ、本資料は制作不可能でした。ここに深く感謝の意を表します。 ● 著者 Gallery Climate Coalition ● 編集者 Bethany White ● デザイン David Naftalin ● 特別協力 Danny Chivers Dianne Dec Todd Hosflet Kim Kraczon Carolyn Leistenschneider Nicole Yip
CONTACT Website LinkedIn Instagram info@galleryclimatecoalition.org	GCCは慈善団体として登録されており、営利目的の運営はしていません。 メンバーになる このアクションプランは、ギャラリー気候連合が『GCC脱炭素アクションプラン2021』に基づき制作しました。今後、最新情報や拡大するメンバーに関連する情報を盛り込んだ改訂版を公開していきたいと考えています。本資料についてご意見がある方、今後のアクションプランに協力してみたいという方は、ぜひご連絡ください。	

オリジナルの文書(英語)はGCCのウェブサイトで配布されています。

● 日本語版発行
2024年7月



● 日本語版制作
特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT]

● 翻訳・編集・レイアウト
木下 悠 (YKD)

● 特別助成
公益財団法人石橋財団

www.a-i-t.net accj.a-i-t.net

The original document (in English) is distributed on the GCC website.



● PUBLISHED IN JAPANESE
July 2024

● PRODUCTION OF JAPANESE VERSION
Arts Initiative Tokyo [AIT]

● TRANSLATION, EDITING, LAYOUT
Yu Kinoshita (YKD)

● SPECIAL SUPPORT
Ishibashi Foundation

www.a-i-t.net accj.a-i-t.net

/// あなたはあなたが思う以上に
大胆になれる。再生可能で
サステナブルな代替手段は、
急速に利用しやすくなっています。
自分に何ができるか、自らの
思い込みに挑戦しつづけることが
何よりも重要です。

